

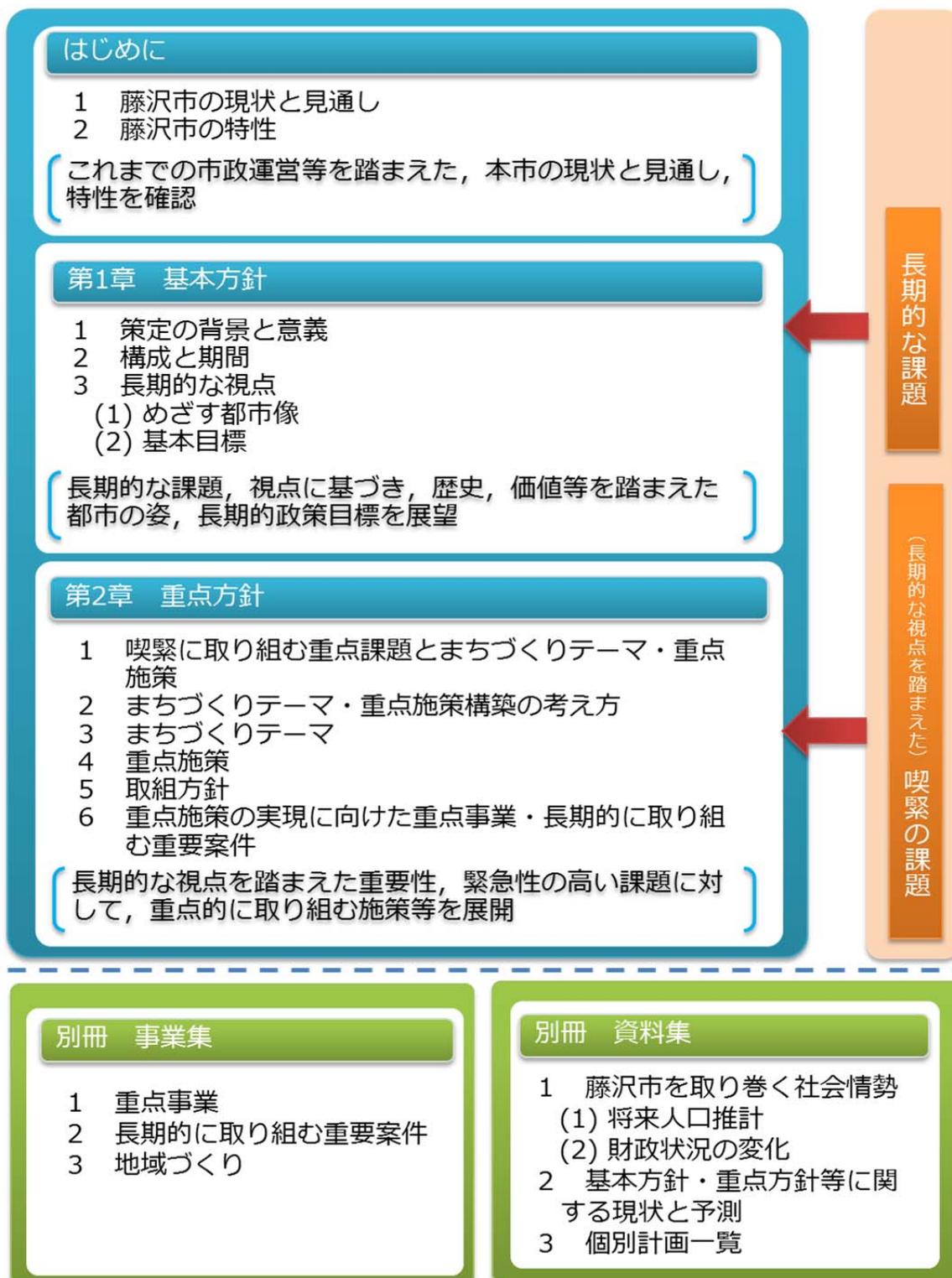
藤沢市市政運営の総合指針2016

—郷土愛あふれる藤沢をめざして—

資料集

平成26年度～平成28年度
(平成26年度版)

藤 沢 市



目 次

1	藤沢市を取り巻く社会情勢	1
	(1) 過去の人口の推移	1
	(2) 財政状況の変化	9
2	基本方針・重点方針等に関する現状	11
3	地区のあらまし	37
4	財政見通し	44
	(1) 一般会計ベース	44
	(2) 普通会計ベース	46
5	評価	48
6	個別計画一覧	53

1 藤沢市を取り巻く社会情勢

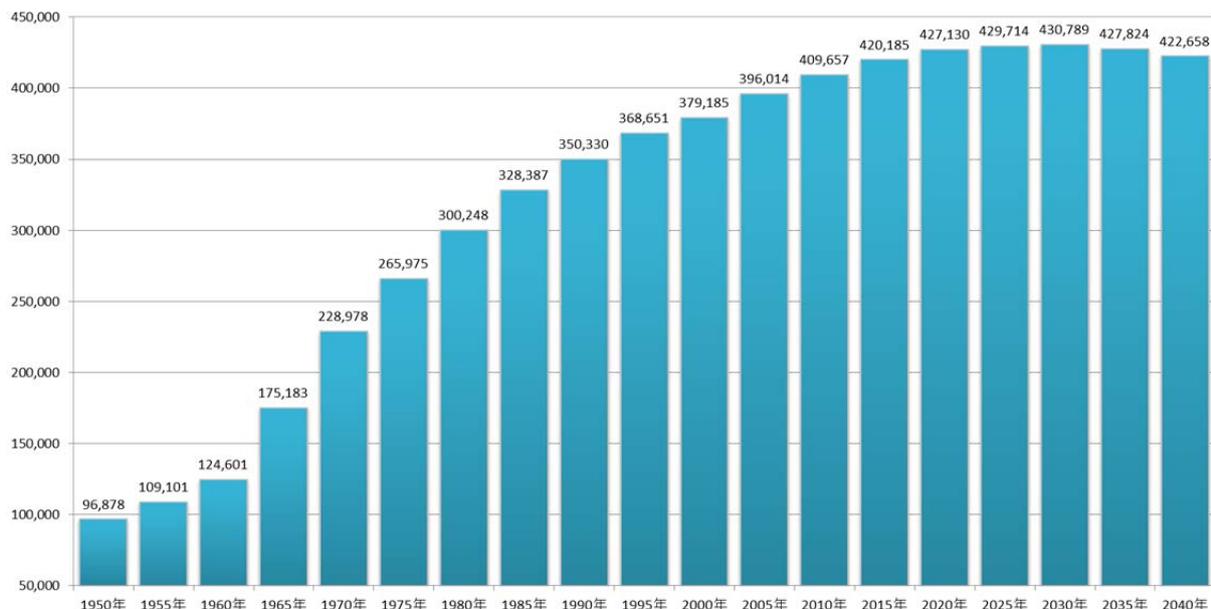
藤沢市を取り巻く社会情勢として、人口推計と財政状況の変化について示します。

(1) 人口の推移と推計

市全体での状況

藤沢市は、1940年（昭和15年）の市制施行以来、都市の成長とともに着実に人口が増加し、2010年（平成22年）には40万人を超えました（国勢調査人口）。今後もしばらくは人口が増加し、2030年（平成42年）に約43万人でピークをむかえ、その後人口減少に転じると推計しています。

総人口の推移(国勢調査・人口推計)(単位:人)



高齢化率は、2025年（平成37年）に25%を超え、さらに上昇する見込みです。全国の高齢化率と比較すれば若干低い状況ですが、将来的には全国平均に近づいていくものと推計しています。

また、0歳～14歳の年少人口率は、高齢化率よりも早く全国平均に近づくものと推計しています。

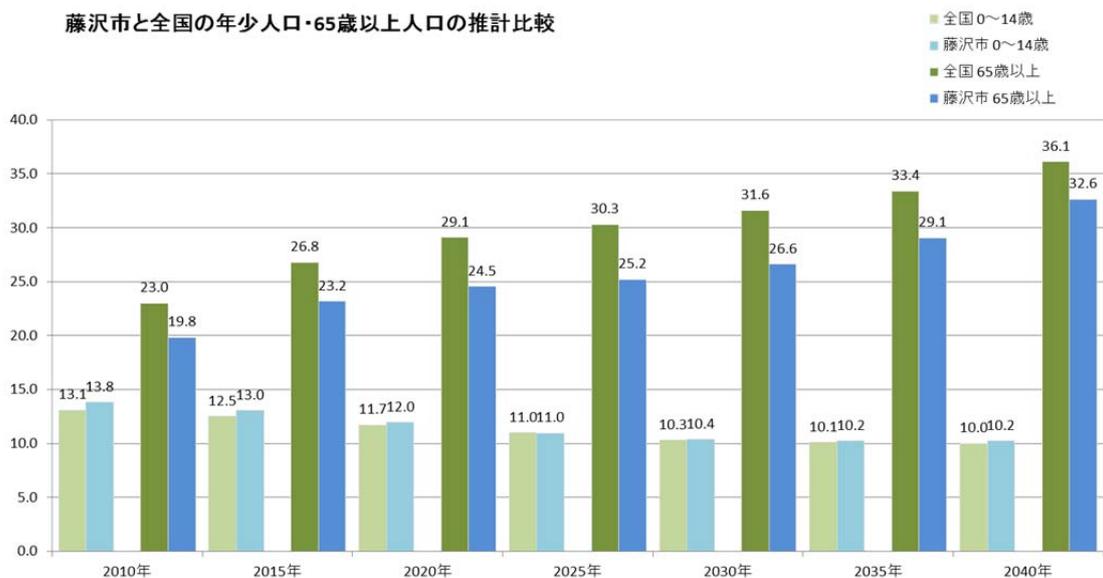
	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0～14歳	73,189	61,660	55,635	53,905	55,751	56,634	54,829	51,147	47,156	44,676	43,771	43,251
15～64歳	229,823	256,131	271,962	273,583	274,838	271,712	268,058	271,202	274,357	271,418	259,730	241,548
65歳以上	25,287	31,711	40,653	51,631	65,408	81,311	97,298	104,781	108,201	114,695	124,323	137,859
合計	328,299	349,502	368,250	379,119	395,997	409,657	420,185	427,130	429,714	430,789	427,824	422,658
高齢化率	7.70%	9.07%	11.04%	13.62%	16.52%	19.85%	23.16%	24.53%	25.18%	26.62%	29.06%	32.62%

年齢3区分別人口(国勢調査・人口推計)(単位:人)



年少人口		2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
全国	0~14歳	13.1	12.5	11.7	11.0	10.3	10.1	10.0
藤沢市	0~14歳	13.8	13.0	12.0	11.0	10.4	10.2	10.2
65歳以上人口		2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
全国	65歳以上	23.0	26.8	29.1	30.3	31.6	33.4	36.1
藤沢市	65歳以上	19.8	23.2	24.5	25.2	26.6	29.1	32.6

藤沢市と全国の年少人口・65歳以上人口の推計比較

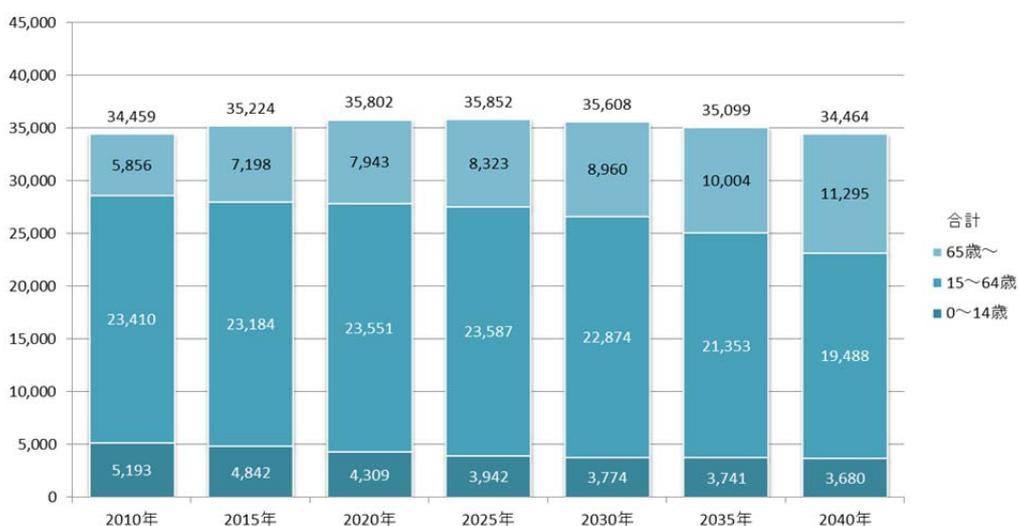


地区別人口推計

地区別の年齢3区分による人口推計について示します。地区別の人口には、地区が不明の推計分を含まないため、市全体の人口推計の合計と各地区の総合計とは一致しません。(各グラフの単位：人)

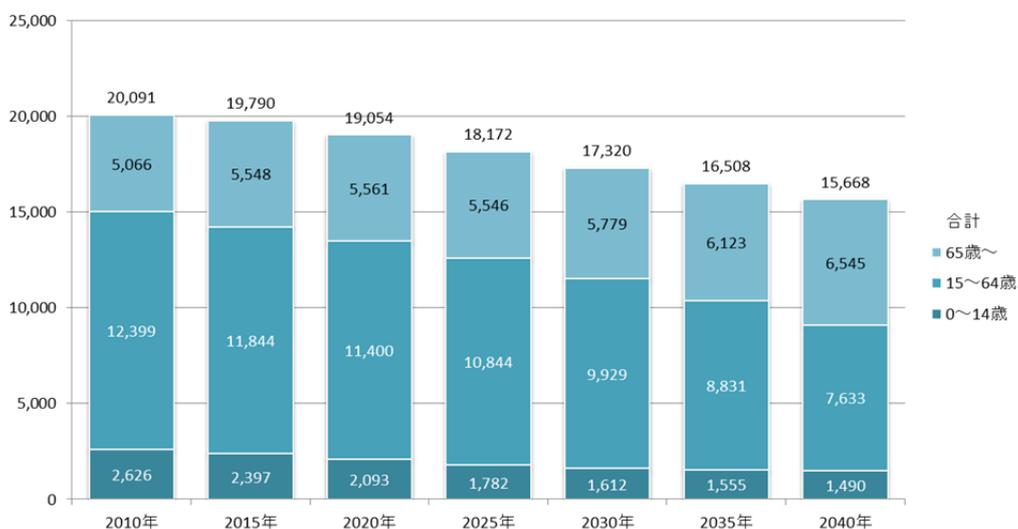
<六会地区>

六会地区では、2025年（平成37年）まで人口増加を続け、以降減少しつつ減少していくと推計しています。高齢化については、市全体の平均的な推移と同様に進展していきます。



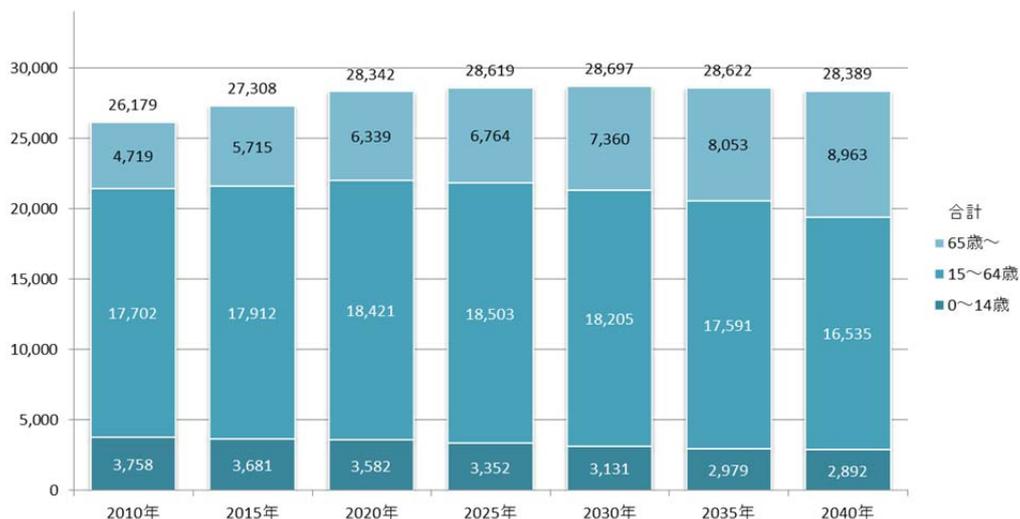
<片瀬地区>

片瀬地区では、今後人口の減少と高齢化の進展が進むと推計しています。2040年（平成52年）までに人口が約2割減少し、高齢化率は40%を超える見込みです。



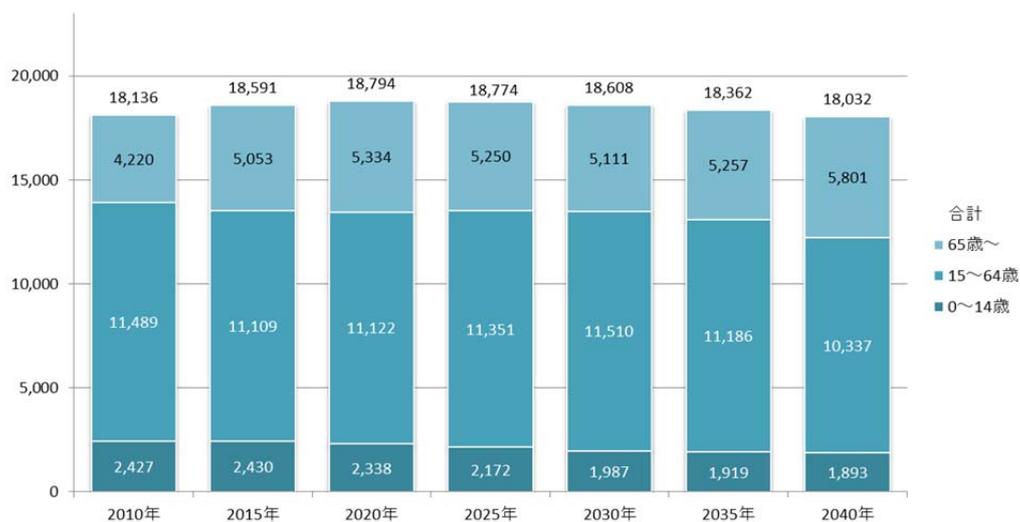
<明治地区>

明治地区では、今後の大規模開発による人口増加が見込まれますが、2030年（平成42）にピークを迎え、その後緩やかに減少に転じます。高齢化率は、全市の平均的な割合とほぼ同様に推移します。



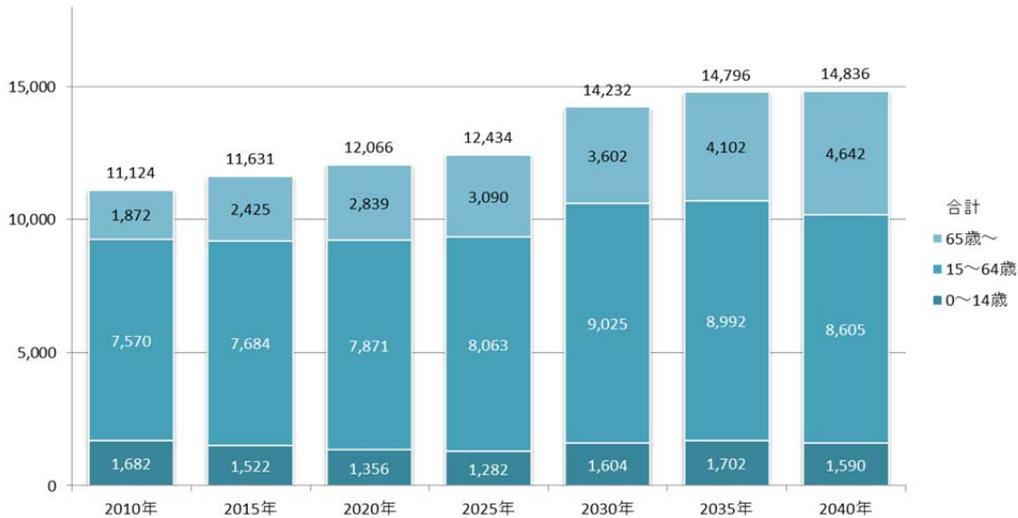
<御所見地区>

御所見地区では、市全体のピークよりも早い時期の人口のピークを迎え、2025年（平成37年）には、減少傾向に入るものと推計しています。グラフにはありませんが、ピークを2022年（平成34年）と推計しています。高齢化率は、市内では比較的高い水準で推移します。



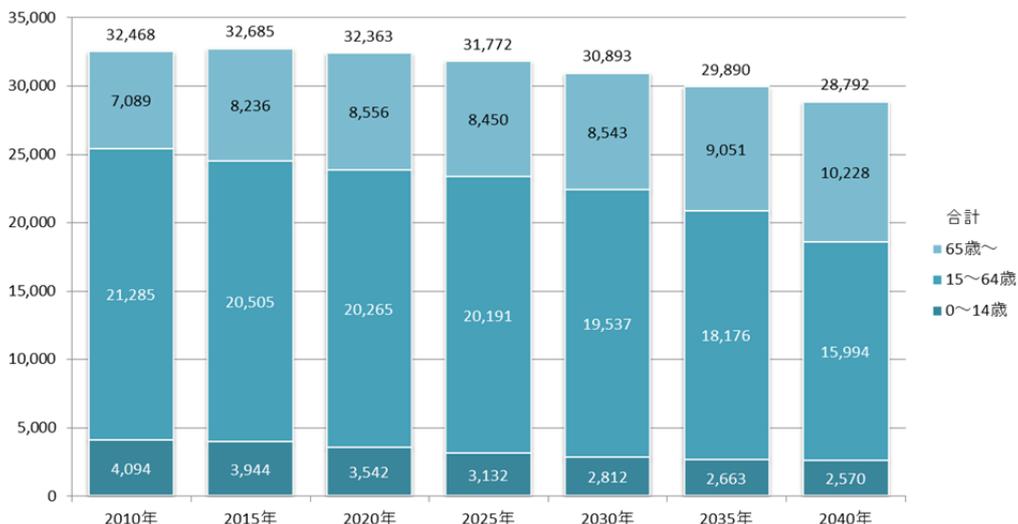
<遠藤地区>

遠藤地区においては、健康と文化の森地区の今後の開発により、人口が増加することを見込んでいます。この開発から、15歳～64歳の生産年齢人口流入を推計し、高齢化率が市内ではやや低い推計となっています。



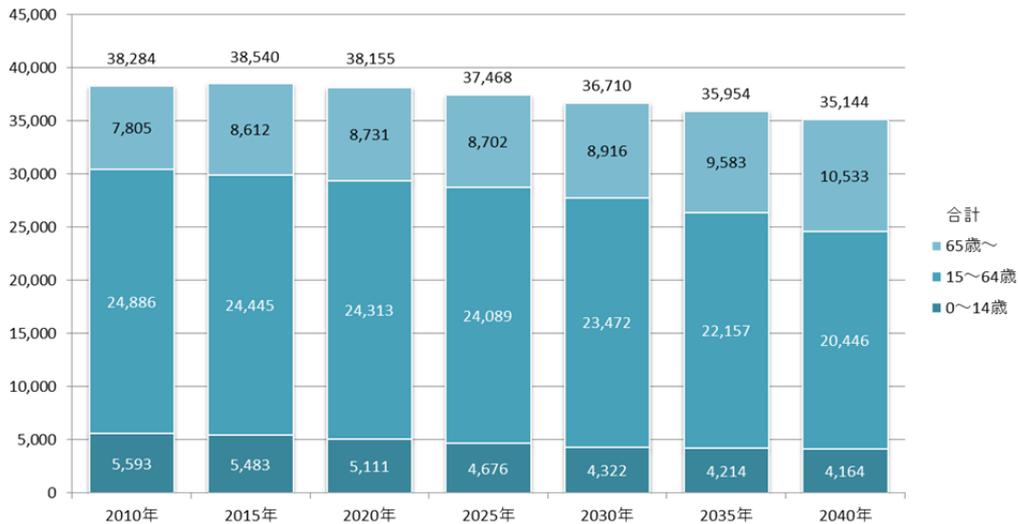
<長後地区>

長後地区ではここ数年の人口増加をピークとして、早い時期から人口減少に入るものと推計しています。高齢化率は、市内でも比較的高い地域として推移していくものと見られます。2040年（平成52年）には、35.5%となる見込みです。



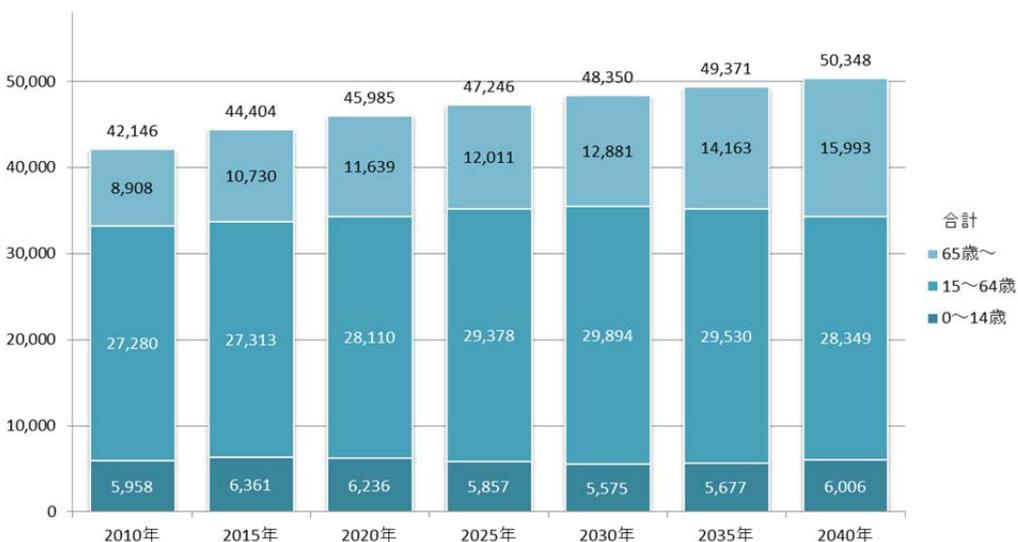
<辻堂地区>

辻堂地区では、開発による一定規模の転入は予想されるものの、地区全体としては、人口減少が進むものと推計しています。高齢化率は、他地域と比較して低い傾向にあり、2040年（平成52年）でも26.6%と推計していますが、これらの推計結果から地区内での住民の入れ替わりが進むことも予想されます。



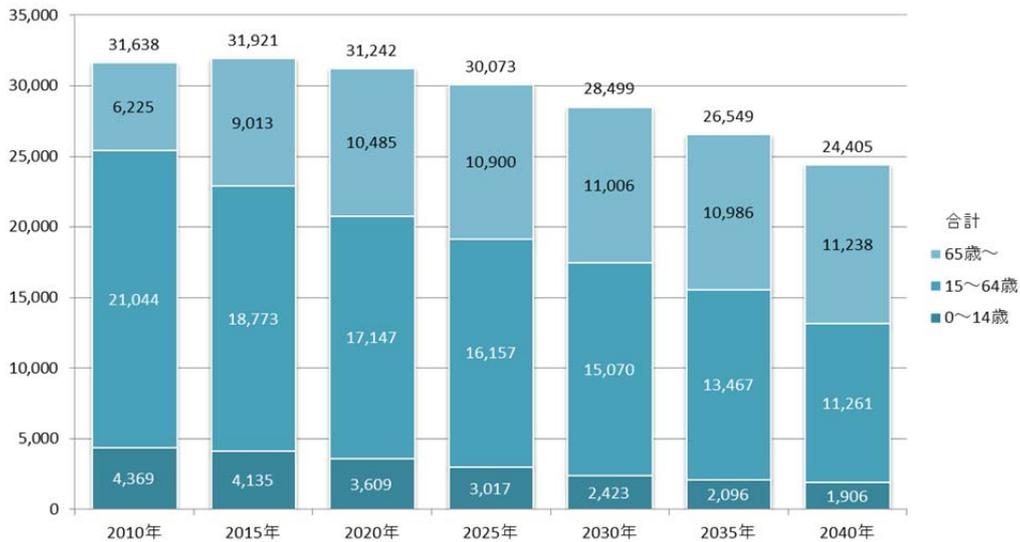
<善行地区>

善行地区では、人口増加傾向が続くとともに、0～14歳人口も比較的維持されるものと推計しています。これは、20歳～40歳の女性の割合が他地区に比べて多いことに起因しています。また、このことにより、高齢化率も市内では他地域と比較して低い推計となっています。



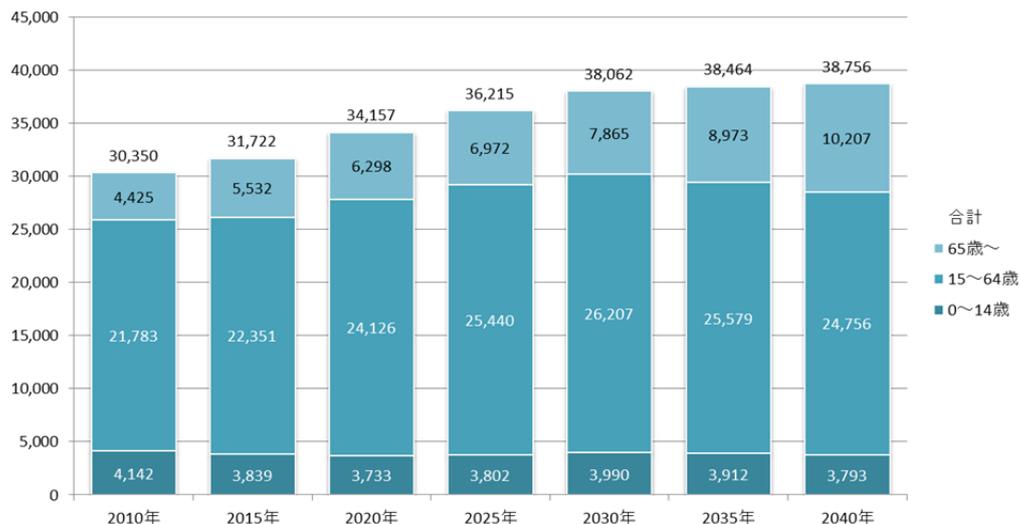
<湘南大庭地区>

湘南大庭地区は、湘南ライフタウンの大規模開発に起因する高齢化が進展し、市内では特に高い高齢化率となることが推計されます。2040年(平成52年)には、約46%の高齢化率となり、ほぼ2人に1人が65歳以上という推計となっています。また、人口減少も早期に始まり、減少規模も比較的大きくなっています。



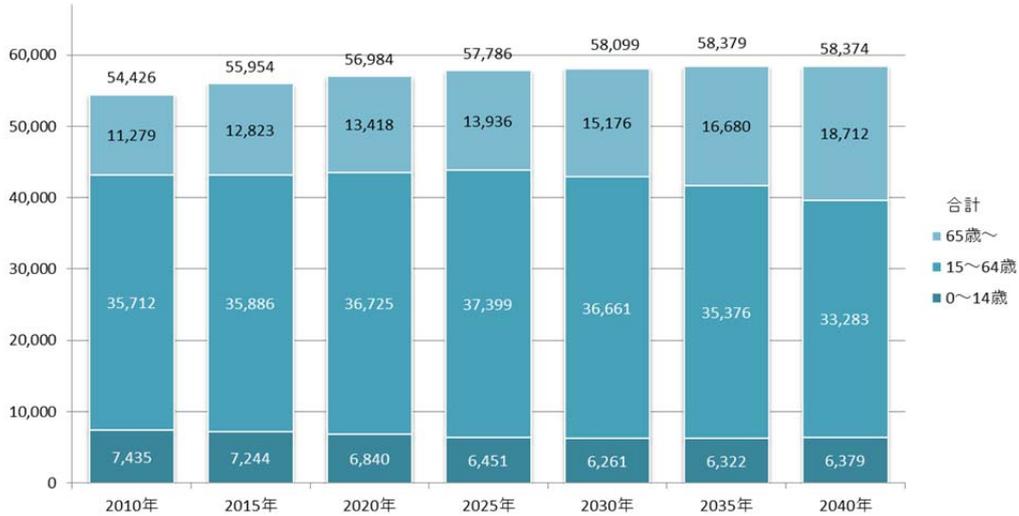
<湘南台地区>

湘南台地区では、区画整理事業等から2040年(平成52年)まで継続した人口増加を見込んでいます。高齢化率についても、市内で最も低い割合で推移すると推計しています。



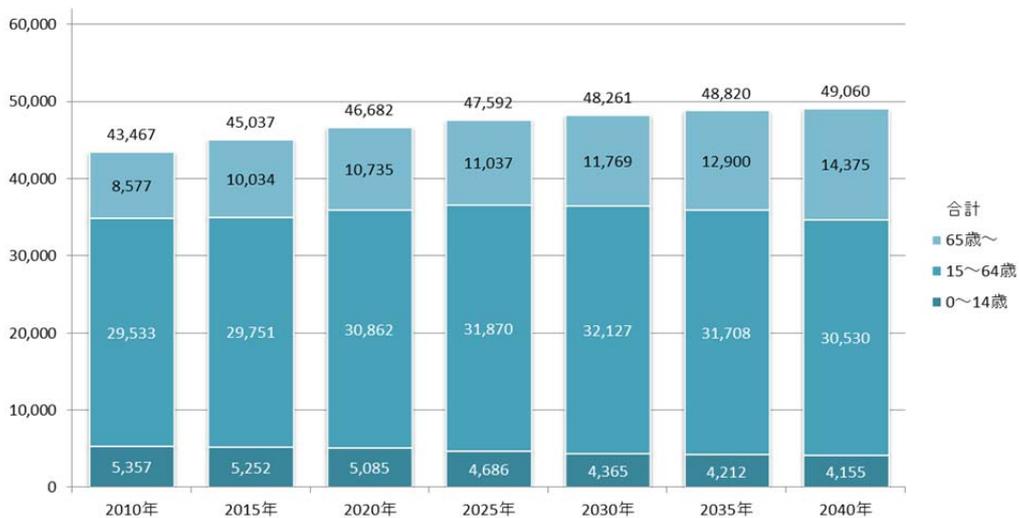
< 鶴沼地区 >

鶴沼地区では、藤沢駅南口の開発等を想定し、人口増加が市全体のピークよりも長く続くことを見込んでいます。その一方で高齢化率が市全体の平均的な値で推移することから、地区内での高齢化率の差が生じることも懸念されます。



< 藤沢地区 >

藤沢地区の人口は、藤沢駅北口をはじめとする開発行為等により増加傾向にあるものと推計されます。高齢化率も湘南台地区に続いて低いものとなっています。



＜村岡地区＞

村岡地区では、区画整理事業等により人口増加が認められるものの、市全体のピークよりも早く人口減少を迎えることが推計されています。高齢化率は人口減少に伴い、比較的高い値で推移し、2040年（平成52年）には35.3%となり、市内では4番目に高い率となっています。



(2) 財政状況の変化（中長期財政見通し）

一般会計の状況（予算ベース）

平成18年度から平成25年度までの一般会計当初予算ベースでの状況は、次の表のとおりです。経常的経費には、義務的経費に消費的経費及び特別会計等への繰出金を加算しています。なお、経常的経費からは重点事業に係る扶助費、補助費等を除くとともに、特別会計における重点事業費は繰出金により担保し、重点事業費には含まないこととしています。（単位は千円）

(歳入見込)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
自主財源計	79,150,798	83,836,747	82,473,312	88,201,982	85,328,309	85,247,364	85,411,525	87,690,715
市税	69,287,000	74,014,000	71,954,000	74,657,000	70,158,000	71,012,000	72,012,000	74,413,000
その他	9,863,798	9,822,747	10,519,312	13,544,982	15,170,309	14,235,364	13,399,525	13,277,715
依存財源計	37,751,762	29,353,153	29,840,349	26,697,818	33,368,691	39,413,636	34,239,475	33,218,285
地方譲与税等	6,593,000	3,412,000	3,438,000	3,164,000	2,553,000	2,490,000	1,994,000	1,977,000
地方消費税交付金	3,280,000	3,351,000	3,656,000	3,536,000	3,445,000	3,590,000	3,640,000	3,700,000
国庫支出金	13,246,532	11,401,205	11,575,640	10,777,723	15,400,722	20,816,624	16,816,909	17,048,624
県支出金	5,007,430	5,626,548	5,017,509	5,078,895	6,239,169	6,505,012	6,387,266	6,389,301
その他	9,624,800	5,562,400	6,153,200	4,141,200	5,730,800	6,012,000	5,401,300	4,103,360
合計①	116,902,560	113,189,900	112,313,661	114,899,800	118,697,000	124,661,000	119,651,000	120,909,000

(歳出見込)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
経常的経費計 ②	91,149,262	95,367,609	95,145,207	98,343,292	105,135,770	109,159,935	108,763,108	110,048,382
義務的経費	52,640,112	55,338,288	55,369,068	57,050,163	64,377,004	67,378,194	67,184,083	67,280,729
人件費	26,290,082	27,357,397	27,100,241	26,942,430	26,369,172	26,203,481	25,941,196	25,940,619
扶助費	17,151,725	18,538,709	18,841,091	20,484,156	27,482,772	31,037,428	31,638,839	32,230,398
公債費	9,198,305	9,442,182	9,427,736	9,623,577	10,525,060	10,137,285	9,604,048	9,109,712
その他	38,509,150	40,029,321	39,776,139	41,293,129	40,758,766	41,781,741	41,579,025	42,767,653
政策的経費投入可能財源 ③(①-②)	25,753,298	17,822,291	17,168,454	16,556,508	13,561,230	15,501,065	10,887,892	10,860,618

特別会計の状況 (決算ベース)

平成18年度から平成25年度までの普通会計当初予算ベースでの状況は、次の表のとおりです。繰入金，繰出金は普通会計内において相殺されることを前提に，歳入歳出双方に加算していません。なお，経常的経費からは重点事業に係る扶助費，補助費等を除きます。(単位は千円)

(歳入見込)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
自主財源計	86,784,567	93,130,592	92,540,521	92,102,486	90,753,782	89,177,939	93,993,974	91,826,642
市税	72,795,465	76,560,886	76,682,490	74,559,746	72,637,326	73,380,120	76,436,640	74,413,000
その他	13,989,102	16,569,706	15,858,031	17,542,740	18,116,456	15,797,819	17,557,334	17,413,642
依存財源計	40,841,188	32,371,636	35,148,327	40,212,368	37,978,066	39,832,669	37,830,136	37,941,831
地方譲与税等	7,251,411	3,386,027	3,252,539	2,781,487	2,551,471	2,759,441	2,153,629	1,978,613
地方消費税交付金	3,723,642	3,722,166	3,586,332	3,789,116	3,782,606	3,650,417	3,625,754	3,700,000
国庫支出金	14,171,422	13,405,364	15,151,206	22,398,321	18,938,061	19,468,406	18,802,441	18,734,995
県支出金	5,615,680	5,948,568	5,558,351	5,839,912	6,720,329	7,413,723	6,978,103	7,110,674
その他	10,079,033	5,909,511	7,599,899	5,403,532	5,985,599	6,540,682	6,270,209	6,417,549
合計 -①	127,625,755	125,502,228	127,688,848	132,314,854	128,731,848	129,010,608	131,824,110	129,768,473

(歳出見込)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
経常的経費計 ②	83,824,785	88,684,111	87,377,126	97,186,317	98,102,562	99,413,311	100,858,500	97,934,262
義務的経費	51,971,109	54,314,042	54,314,630	56,881,027	62,984,023	65,325,070	64,784,567	65,861,346
人件費	25,872,111	26,630,545	25,640,269	25,977,958	25,172,789	25,400,978	24,700,059	25,280,472
扶助費	16,839,195	18,218,635	19,123,166	21,170,286	28,154,556	30,571,211	30,748,617	31,471,162
公債費	9,259,803	9,464,862	9,551,195	9,732,783	9,656,678	9,352,881	9,335,891	9,109,712
その他	31,853,676	34,370,069	33,062,496	40,305,290	35,118,539	34,088,241	36,073,933	32,072,916
政策的経費投入可能財源 ③(①-②)	44,532,637	37,790,681	41,538,734	36,804,612	31,851,318	30,955,567	32,310,978	31,834,211

2 基本方針・重点方針等に関する現状・予測

基本指標

項目	値	単位	基準日
面積	69.51	km ²	
周囲	39.72	km	
東西距離	6.55	km	
南北距離	12.00	km	
海岸線延長	5.25	km	
位置	極東東経	139° 31' 06"	小塚東部
	極西東経	139° 23' 40"	宮原百石
	極南北緯	35° 17' 39"	江の島
	極北北緯	35° 25' 35"	長後上原
標高(最高地点)	72.5	m	渡内本在寺
降水量	1,301.0	mm	2011年中
平均気温	16.5	℃	〃
人口	418,269	人	2013.10.1(推計人口による)
人口密度	6,017	人/km ²	〃
0～14歳人口	58,839	人	2013.10.1(住基台帳による)
15～64歳人口	270,693	人	〃
65歳以上人口	91,553	人	〃
世帯数	178,887	世帯	2013.10.1(推計人口による)
人口増加率	0.36	%	前年同時期
出生数	3,666	人	2012年中
死亡数	3,237	人	〃
転入	18,945	人	〃
転出	17,072	人	〃
昼夜間人口比率	93.2	%	平成22年国勢調査
財政力指数 ※1	0.994		H24年度(単年度)
	1.00		H24年度(過去3箇年平均)
標準財政規模 ※2	76,383,486	千円	H24年度

※1<財政力指数>地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余

裕があるといえる。この数値が単年度で1以上の団体は普通交付税の不交付団体となる。

※2<標準財政規模>地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税を加算した額。

項目	単位	値	基準日
市営住宅数	戸	1,704	2012.3.31
工業事業所数(従業者4人以上)	店	319	2010.12.31
製造品出荷額等(従業者4人以上)	億円	10,709	〃
年間商品販売額(卸売・小売業)	百万円	729,776	2007.6.1
第一次産業就業者数	人	1,997	平成22年国勢調査
第二次産業就業者数	人	42,786	〃
第三次産業就業者数	人	133,304	〃
保育園数	園	市16私25(+4分園)	2013.4.1
小学校	校	市:35私:2	2013.5.1
中学校	校	市:19私:6	〃
高校	校	県:6私:9	〃
公民館数	館	13(+2分館)	2012.4.1
市民の家の数	所	41	〃
地域子供の家の数	所	16	2013.12.1
児童館の数	所	5	2013.4.1
図書館数	館	4(+11市民図書室)	2012.3.31
図書館蔵書及び資料総数	件	1,392,091	〃
人口1人当たり図書貸出件数	件	9.84	H23年度
公共下水道普及率(全市人口比率)	%	94.6	2012.3.31
都市計画街路整備率(対計画延長比)	%	72.3	〃
人口1人当たり都市公園面積(県立公)	m ²	5.35	〃
区画整理事業施行面積	ha	1,705	2012.9.30
自治会加入率(加入世帯数÷全世帯)	%	79.4	2011.9.1
職員数(現員数) ※3	人	3,420	2013.4.1

(1) まちづくりテーマ1 みんなの命と財産を守る災害などへの備えを進めよう！

防 災

【災害時相互応援（2013年（平成25年）4月現在）】

松本市	1995年（平成7年）4月5日
茅ヶ崎市・寒川町2市1町	1996年（平成8年）11月15日
岐阜市	1996年（平成8年）12月11日
山形市	1998年（平成10年）10月6日
大規模災害時の相互応援に関する協定 2004年（平成16年）9月1日 （愛知）江南市・津島市（群馬）藤岡市・富岡市（静岡）藤枝市 （埼玉）羽生市・春日部市・富士見市（9市）	
大和市	2010年（平成22年）10月20日
鎌倉市	2011年（平成23年）2月8日
横浜市	2011年（平成23年）11月11日
神奈川県	2012年（平成24年）3月29日

【職員派遣協定】

湘南地区災害時職員相互派遣協定（5市3町）1996年（平成8年）8月21日 平塚市・藤沢市・茅ヶ崎市・秦野市・伊勢原市・寒川町・大磯町・二宮町
--

【県自治体病院災害時相互応援に関する申し合わせ】

県自治体病院県及び9市1995年（平成7年）5月1日 ・神奈川県・横浜市・川崎市・横須賀市・平塚市・藤沢市・小田原市・茅ヶ崎市 ・三浦市・大和市
--

【防災・避難施設（2013年（平成25年）10月現在）】

区分	避難施設数	収容人員
地震	81施設	68,450人
津波	198施設	156,113人

【消防・救急活動の現況（2013年（平成25年）4月1日現在（※印平成24年中））】

火災件数	106件※
出火率（1万人当たり）	2.6件※
1件当たり建物火災損害額	2,727千円※
救急出動件数	21,156件※
救急隊員数	119人

救急自動車数（非常用4台含む）		16台
消 防 自 動 車	消防ポンプ車（非常用4台含む）	16台
	はしご車	4台
	その他（消防団車両及び軽車両を除く）	31台
計		67台

【消防署・出張所の所在地及び人員数 (2013年(平成25年)10月1日現在)】

署所名称	所在地	人員	
消防局	朝日町1-1	71	
救急ワークステーション	藤沢市藤沢2-6-1	10	
南消防署	本署	鵠沼東8-3	70
	辻堂出張所	辻堂5-5-18	28
	本町〃	本町4-5-21	14
	荏田〃	本鵠沼4-3-1	24
	村岡〃	渡内656-1	24
	鵠沼〃	鵠沼海岸4-1-12	16
	明治〃	辻堂新町1-11-23	26
	片瀬分遣所	片瀬3-15-17	0
	北消防署	本署	湘南台2-7-1
長後出張所		長後163-1	26
西部〃		大庭5406-11	26
御所見〃		用田480	25
善行〃		善行7-7-10	23
六会〃		亀井野4-8-1	14
防災危機管理室派遣		4	
合計		451	

* 消防局の人員 (他機関派遣職員2人を含む)

* 消防署・出張所の数2署 (本署) 11出張所1分遣所1救急ワークステーション

* 人員は職員実数 (再任用者を含む。)

* 平成25年4月1日から消防局に名称変更

交 通

【交通安全施設等整備の現況】 (2013年(平成25年)3月31日現在)

歩道	286.7
ガードレール	39.1
道路照明灯	4,194
カーブミラー	5,889

【年別交通事故発生状況】

年	件数	死者	負傷者
平成16年	3,231	5	3,917
平成17年	3,193	12	3,846
平成18年	2,742	6	3,254
平成19年	2,675	11	3,184
平成20年	2,423	3	2,912
平成21年	2,335	9	2,752
平成22年	2,257	8	2,691
平成23年	1,915	7	2,281
平成24年	1,799	9	2,157

【乗用車の保有台数（各年度3月31日現在※その翌年度4月1日現在）】

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
乗用自動車	119,248 台	118,601 台	118,736 台
1 世帯当たり乗用自動車保有台数	0.69 台	0.69 台	0.67 台
軽自動車(原付等含む)	※89,326 台	※89,281 台	※89,613 台
(世帯数)	(172,477 世帯)	(172,975 世帯)	(175,939 世帯)

【主な道路の交通量】

平日の 12 時間交通量(2010 年(平成 22 年)9~11 月調査)

戸塚茅ヶ崎線大鋸二丁目地内(藤沢橋付近)	14,504 台
藤沢厚木線用田地内	12,959 台
国道134号鵠沼海岸一丁目地内	24,338 台

【鉄道交通】

鉄道路線別の駅数

J R 東海道本線	2 駅	小田急江ノ島線	9 駅
江ノ島電鉄	6 駅	相鉄いずみ野線	1 駅
横浜市営地下鉄1号線	1 駅	湘南モノレール	2 駅

主要駅の乗者客数(1日平均)(単位：人)

鉄道	駅名	2006 年度	2007 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度
J R 東日本	藤沢	97,128	101,970	102,630	102,240	102,284	102,054
	辻堂	45,030	45,538	45,667	45,557	45,837	50,203
小田急電鉄	長後	18,325	18,360	18,150	17,501	17,442	17,455
	湘南台	39,602	40,925	41,278	40,993	41,690	41,916
	六会日大前	13,974	14,022	14,117	14,055	14,007	13,959
	善行	13,627	13,853	13,778	13,422	13,484	13,262
	藤沢本町	9,784	10,214	10,326	10,243	10,289	10,379
	藤沢	71,836	75,696	76,197	76,115	76,483	76,397
	本鵠沼	5,285	5,463	5,494	5,580	5,592	5,566
	鵠沼海岸	9,745	9,900	9,940	9,916	9,858	9,535
	片瀬江ノ島	9,031	9,371	9,467	9,517	9,556	8,939
江ノ島電鉄	藤沢	12,471	14,042	14,105	15,154	16,520	15,645
	石上	186	148	133	125	117	110
	柳小路	703	569	549	525	536	511
	鵠沼	1,751	1,507	1,439	1,405	1,355	1,308
	湘南海岸公園	510	442	442	427	429	436
相模鉄道	江ノ島	2,820	2,295	2,112	2,296	2,433	3,049
相模鉄道	湘南台	12,517	12,722	13,068	13,034	13,229	13,143
横浜市営地下鉄	湘南台	23,505	24,105	22,180	21,723	22,396	22,553
湘南モノレール	目白山下	158	141	137	110	132	118
	湘南江の島	1,818	1,900	1,865	1,230	1,845	1,679

東京駅まで 51.1km 普通 約50分(JR東海道本線)
 新宿駅まで 55.4km 快速急行 約65分(小田急線)
 横浜駅まで 22.3km 普通 約20分(JR東海道本線)
 成田空港駅まで 133.2km 約110分(JR線大船駅から特急を利用)

都市計画・公共施設

【都市計画道路の現況】

(2013年(平成25年)3月31日現在)

種別	計画延長(km)	整備済延長(km)	割合(%)
国道	27.53	23.05	83.7
県道	36.74	25.72	70.0
市道	92.28	67.83	73.5
区画街路・特殊街路	8.08	4.76	58.9
計	164.63	121.36	73.7

【都市計画用途地域】

(2013年(平成25年)4月1日現在)

都市計画区域	面積(ha)	割合(%)	
市街化区域	4,703	67.7	
用途地域	住居系	3,640	52.4
	第1種低層住居専用地域	2,196	31.6
	第2種低層住居専用地域	33	0.5
	第1種中高層住居専用地域	297	4.3
	第2種中高層住居専用地域	83	1.2
	第1種住居地域	719	10.3
	第2種住居地域	182	2.6
	準住居地域	130	1.9
	商業系	315	4.5
	近隣商業地域	158	2.3
	商業地域	157	2.2
	工業系	748	10.8
	準工業地域	254	3.7
	工業地域	106	1.5
工業専用地域	388	5.6	
市街化調整区域	2,248	32.3	
合計	6,951	100.0	

【土地区画整理事業の現況】 (2013年(平成25年)4月1日現在)

区分	面積	
市街化区域	4,703 ha	
事業主体	市施行	1,320.66 ha
	共同・組合施行	394.36 ha
区画整理区域	1,710.13 ha	
市街化区域に対する割合	36.36%	

※市街化調整区域内組合施行の遠藤打越地区4.89haを除く

【公共下水道整備の現況】 (2013年(平成25年)3月31日現在)

項目	数値
現在人口	420,202人
全体計画区域面積	5,754 ha
事業計画区域面積	5,255 ha
処理区域面積	4,643 ha
処理区域内人口	399,099人
処理人口比率	95.0%

(2) まちづくりテーマ2 みんなとまちが元気になる魅力と活力を生み出そう！

市内産業の現況

【農業の現況】

販売農家戸数とその構造	総数 713戸	内 訳	専業戸数 257戸	兼業戸数		
				計	第1種	第2種
				456戸	153戸	303戸

(資料：2010年 農林業センサス)

販売農家が 経営する耕地面積	合計 699ha	内 訳	田 115ha	畑 467ha	樹園地 117ha
-------------------	-------------	--------	------------	------------	--------------

(資料：2010年 農林業センサス)

農産物販売金額別販売農家数

総数	販売金額 (万円)						
	販売なし	50万円 未満	50万～ 100万円	100万～ 200万円	200万～ 300万円	300万～ 1,500万円	1,500万円 以上
713戸	94戸	98戸	95戸	74戸	47戸	229戸	76戸

(資料：2010年 農林業センサス)

家畜飼養頭羽数

(2013年(平成25年)2月1日現在)

乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏	
戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	羽数
15	592	5	696	11	19,233	4	2,732

(資料提供：神奈川県湘南家畜保健衛生所)

【水産業の現況】

平成24年(1月～12月) 市内総漁獲量 1,150トン
市内魚種別漁獲量(経年変化)

(単位：t)

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
アジ類	18	53	23	25	60	25
イワシ類	862	723	784	744	456	624
カツオ類	69	38	30	32	45	43
ブリ類	55	47	51	17	51	103
サバ類	159	391	290	545	146	179
シラス	52	67	80	62	80	33
ヒラメ	2	2	3	2	3	4
カレイ	3	2	2	2	3	1
タイ類	4	5	5	3	6	6
カマス	40	17	40	14	61	43
サザエ	1	1	2	4	5	1
イセエビ	2	1	1	1	2	1
イカ類	6	12	5	9	11	10
ワカメ	21	20	15	15	12	9
その他の魚種	65	55	63	62	85	68
合計	1,359	1,434	1,394	1,537	1,026	1,150

【工業の現況】

製造品出荷額等の推移

平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年
1 兆 3, 109 億円	1 兆 3, 626 億円	1 兆 3, 352 億円	8, 652 億円	1 兆 709 億円

(資料：平成22年工業統計調査)

平成22年製造品出荷額等の主要産業別構成比

輸 送 機	63.4%
は ん 用 機 器	16.1%
食 料	3.1%
そ の 他	17.4%

(資料：平成22年工業統計調査)

事業所数等

事業所数	319事業所
従業者数	21, 696人
付加価値額	2, 454億円

(資料：平成22年工業統計調査)

【商業の現況】

業 種		平成11年	平成14年	平成16年	平成19年
卸 売 業	年間販売額 (万円)	33, 298, 538	27, 832, 736	26, 612, 209	31, 193, 489
	店 数	646	577	587	502
	従業者数 (人)	5, 718	5, 072	4, 875	4, 479
小 売 業	年間販売額 (万円)	46, 249, 431	43, 089, 602	45, 236, 459	41, 784, 113
	店 数	3, 125	3, 008	2, 913	2, 744
	従業者数 (人)	24, 191	24, 308	24, 987	23, 696

(資料：平成19年商業統計調査) ※平成11年、16年は簡易調査

【年間観光客数の現況】

区 分	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	
	人 数	人 数	人 数	割 合
年間日帰り客数	15, 016 千人	11, 567 千人	14, 733 千人	97.2%
年間宿泊者数	392 千人	374 千人	420 千人	2.8%
年間観光客数	15, 408 千人	11, 940 千人	15, 153 千人	100%
海水浴客数(7月～8月)	4, 284 千人	3, 014 千人	3, 757 千人	24.8%

(3) まちづくりテーマ3 みんなが誇りと愛着の持てる地域をつくろう！

文化財・歴史資料

【市民文化】2013年(平成25年)3月31日現在

市民会館・湘南台文化センター利用状況		(2012年度(平成24年度))
市民会館 (1968.10月開館)		370,219人
湘南台文化センター	こども館 (1989.7月開館)	191,937人
	市民シアター (1990.10月)	70,911人

市民ギャラリー利用状況(2012年度(平成24年度))		
市民ギャラリー(1987.2月開館、ルミネプラザ6F) 第1展示室187㎡	第2・第3展示室各93㎡	120団体 104,510人

市民オペラ(代表的な自主文化事業)

年 度	演 目
1973年度(昭和48年度)	フィガロの結婚
1975年度(昭和50年度)	セビリアの理髪師
1977年度(昭和52年度)	こうもり
1978年度(昭和53年度)	竜恋譜(2回)
1979年度(昭和54年度)	夕鶴
1980年度(昭和55年度)	カルメン
1982年度(昭和57年度)	蝶々夫人
1983年度(昭和58年度)	ウィリアム・テル(2回)
1984年度(昭和59年度)	ヘンゼルとグレーテル
1985年度(昭和60年度)	アイダ(4回)
1988年度(昭和63年度)	椿姫(4回)
1990年度(平成2年度)	ファウスト(4回)
1991年度(平成3年度)	魔笛
1993年度(平成5年度)	トゥーランドット(4回)
1995年度(平成7年度)	ウィンザーの陽気な女房たち(4回)
1998年度(平成10年度)	リエンツィ・最後の護民官(4回)
2000年度(平成12年度)	ラ・ボエーム(4回)
2003年度(平成15年度)	地獄のオルフェ(天国と地獄ー藤沢特別バージョン)(4回)
2005年度(平成17年度)	トゥーランドット《ベリオ版》(4回)
2008年度(平成20年度)	メリー・ウィドウ(4回)
2010年度(平成22年度)	カヴァレリア・ルスティカーナ/道化師(パリアッチ)(4回)
2013年度(平成25年度)	フィガロの結婚(4回)

【文化財・歴史資料】

藤沢市内の指定文化財(2013年(平成25年)4月1日現在)

国指定文化財			県指定文化財			市指定文化財		
重要文化財	絵画	3	有形文化財	絵画	4	有形文化財	建造物	6
	彫刻	1		彫刻	1		絵画	4
	書跡	2		工芸品	3		彫刻	6
	考古資料	1		書跡	1		工芸品	3
						書跡	2	
重要無形文化財保持者(工芸技術)		1	有形民俗文化財		2	典籍		1
			無形民俗文化財		2	古文書		1
記念物史跡		1	記念物史跡・名勝		1	考古資料		1
						歴史資料		1
						民俗文化財	有形	21
							無形	6
						記念物	史跡	7
							天然記念物	8
計		9	計		14	計		67
総計 90件								
国登録有形文化財 3件								

歴史資料の収納状況(2013年(平成25年)4月1日現在)

資料名	資料数	保管場所
考古資料	36,038点	第1収蔵庫、御所見収蔵庫
民俗資料	7,630点	第1収蔵庫、第2収蔵庫
歴史資料	2,696点	まちづくり協会ビル内、神奈川県立歴史博物館
高橋コレクション	3,561点	まちづくり協会ビル内
美術資料	1,153点	美術専用倉庫(賃貸)
映像資料	222点	まちづくり協会ビル内
寄贈歴史資料	2,919点	まちづくり協会ビル内
図書資料	10,000点	まちづくり協会ビル内
合計	64,219点	

保管施設の概要(2013年(平成25年)4月1日現在)

施設名	所在地	面積
第1収蔵室	藤沢市まちづくり協会ビル 円行2-3-17	259.96㎡
第2収蔵室		
図書室		
第1収蔵庫	石川3988ほか	918.09㎡
第2収蔵庫	亀井野1000	903.40㎡
御所見収蔵庫	打戻1926	1,607.33㎡
合計		3,688.78㎡

自治町内会

【自治会】

地区別自治会数及び加入世帯数（2012年（平成24年）9月1日現在）

地区名	自治会数	加入世帯数	平均自治会加入世帯数
藤沢東部	40	10,282	257
藤沢西部	38	7,882	207
鶴沼	50	20,531	411
村岡	23	9,583	417
六会	32	10,300	322
片瀬	26	8,202	315
明治	32	7,927	248
御所見	13	5,400	415
遠藤	16	3,218	201
長後	39	10,242	263
辻堂	46	13,687	298
善行	39	10,668	274
湘南大庭	47	10,216	217
湘南台	34	10,977	323
合 計	475	139,115	(平均) 293

$$\text{※自治会加入率} = \frac{\text{加入世帯数 } 139,115}{\text{全世帯数 } 177,225} \times 100 = 78.5\%$$

（全世帯数は2012年（平成24年）9月1日現在）

市民参加

【市民活動推進センター利用状況】（2001年（平成13年）12月15日オープン）

2012年度（平成24年度）利用状況

	2012年度（平成24年度）開館日数 308日					
	件数	1日平均	構成比	延べ人数	1日平均	構成比
交流スペース	2,903	9.4	27.9%	9,472	30.8	24.8%
情報コーナー	1,395	4.5	13.4%	2,090	6.8	5.4%
作業スペース	3,879	12.6	37.2%	7,074	23.0	18.5%
多目的スペース	827	2.7	7.9%	4,114	13.4	10.8%
会議室（A）	700	2.3	6.7%	9,261	30.1	24.2%
会議室（B）	708	2.3	6.8%	6,091	19.8	15.9%
ニッセイ会議室	10	0.03	0.1%	140	0.5	0.4%
合 計	10,423	33.8	100%	38,206	124.0	100%

団体等登録数（2013年（平成25年）3月31日現在）

団体 : 466
うち法人 : 128

都市景観・緑化

【都市景観】

特別景観形成地区	江の島特別景観形成地区	平成2年5月1日指定
	湘南C-X(シークロス)特別景観形成地区	平成18年11月28日指定
景観形成地区	サム・ジュ・モール景観形成地区	平成5年6月1日指定
	すばな通り地区景観形成地区	平成9年9月1日指定
	湘南辻堂景観形成地区 ※湘南通り景観形成地区及び辻堂熊ノ森景観形成地区を一体化	平成19年1月12日指定
	ニコニコ自治会景観形成地区	平成24年3月30日指定
	湘南台景観形成地区	平成24年3月30日指定
	Fujisawaサステイナブル・スマートタウン景観形成地区	平成25年5月24日指定

【緑化推進事業の現況】 (2013年(平成25年)3月31日現在)

区分	数値
特別緑地保全地区	35.8ha
保存樹林	120.7ha
保存樹木	1,375本
保存生垣	259か所9,012m
緑の広場	23.3ha
緑化協定緑化面積(累)	383ha
みどり基金	712百万円

(4) まちづくりテーマ4 みんなの絆で藤沢っ子の明日を築こう！

児童福祉

【保育所の推移】 (2013年(平成25年)4月1日)

区分 年度(平成)	保育所数(入所児定員)		
	公立	法人立	計
12	16(1,845人)	15(1,650人)	31(3,495人)
13	16(1,845人)	16(1,775人)	32(3,620人)
14	16(1,860人)	17(1,865人)	33(3,725人)
15	16(1,860人)	18(1,954人)	34(3,814人)
16～	16(1,910人)	18(2,042人)	34(3,952人)
19～	16(1,910人)	19(2,132人)	35(4,042人)
21	16(1,910人)	19(2,162人)	35(4,072人)
22	16(1,910人)	21(2,282人)	37(4,192人)
23	16(1,910人)	23(2,754人)	39(4,664人)
24	16(1,910人)	23(2,809人)	39(4,719人)
25	16(1,910人)	25(3,099人)	41(5,009人)

【一時預かり利用件数】 (2012年度(平成24年度))

善行保育園	高砂保育園	小糸保育園	辻堂保育園	鶴沼保育園	湘南台保育園	二葉保育園
1,603件	1,355件	1,978件	2,061件	2,032件	1,693件	2,530件
村岡保育園	神愛保育園	保育園 小さなほし	富士見保育園	グリーン キッズ湘南	キディ湘南 C-X	合計
1,100件	1,230件	1,889件	1,871件	2,052件	1,760件	23,154件

※二葉保育園:2007年(平成19年)11月開始, 村岡保育園:2008年(平成20年)3月開始, 神愛保育園:2009年(平成21年)4月開始, 保育園小さなほし:2010年(平成22年)4月開始, 富士見保育園:2010年(平成22年)8月開始, グリーンキッズ湘南:2011年(平成23年)4月開始, キディ湘南C-X:2011年(平成23年)7月開始, ときわぎ保育園:2013年(平成25年)4月開始, 湘南ひばり保育園:2013年(平成25年)4月開始

【ファミリー・サポート・センター 会員状況・活動件数】 (2012年度(平成24年度))

おねがい会員	まかせて会員	どっちも会員	活動件数
4,552人	787人	437人	10,418件

【子育て支援センター】

延べ利用者数 (2012年度(平成24年度))

藤沢	湘南台	辻堂	巡回ひろば
12,114人	22,347人	22,898人	3,417人

【児童虐待防止対策】

ケース数(2012年度(平成24年度))

前年度からの継続	新規	次年度へ引継ぎ
152件	334件	143件

学校教育

【幼児教育】

幼稚園 …………… 35園 幼児教育施設 …………… 12施設
 就園率(市外の幼稚園及び幼児教育施設を含む) (2013年(平成25年)5月1日現在)

3歳児	54.9%(3,935人中 2,162人)
4歳児	69.1%(3,977人中 2,748人)
5歳児	69.8%(3,979人中 2,777人)

【学校教育・特別支援教育】 (2013年(平成25年)5月1日現在)

	小学校	中学校	特別支援学校
学校数	35	19	1
児童生徒数	22,913	10,429	105
学級数	746	311	34
校舎面積 (m ²)	187,638	121,838	5,662
敷地面積 (m ²)	556,259	400,252	11,123
特別支援学級設置校	16	11	
通級指導教室設置数	6	0	

【完全給食実施率】 (平成24年度神奈川の学校給食) (2012年(平成24年)5月1日現在)

	小学校	中学校	特別支援学
藤沢市(%)	100	0	100
神奈川県(%)	99.8	24.9	88.6

(ミルク給食実施率)

	小学校	中学校
藤沢市(%)	0	100
神奈川県(%)	0	38.6

青少年

青少年関係団体(2013年(平成25年)4月1日現在)

青少年団体(団体名)	団体数	人数
藤沢市子ども会連絡協議会	48	4,133人
藤沢市ボーイスカウト連絡会	9	681人
藤沢市ガールスカウト連絡会	4	150人
藤沢子ども劇場	1	605人
藤沢市科学少年団	1	134人
藤沢S.L少年団	1	26人
藤沢海洋少年団	1	62人
藤沢市宇宙少年団	1	63人
藤沢市青少年会館運営委員会	1	17人
藤沢市青少年活動リーダーバンク	1	195人
藤沢市青少年指導員協議会	14地区	224人
藤沢市青少年育成協議会	14地区	14人
各地区青少年育成協力会	14地区	980人

(5) みんなの希望と笑顔があふれる健やかな暮らしを支えよう！

保健・医療

【各種医療費助成制度】

制度名	助成内容	対象人員(人)	助成額	開始年月日
福寿医療費助成 (保健医療総務課)	100歳以上の高齢者に対し医療費の自己負担分を助成し、高齢者の経済的負担の軽減を図る。 ※入院時の標準負担額は本人負担。	2013年 3月末現在 129	24年度実績 11,297 (千円)	2009.4.1 (平成21)
高齢者医療費助成 (保健医療総務課)	2010年3月31日をもって廃止。経過措置として、個人市民税非課税世帯に属する1943年4月1日以前に生まれた67歳から69歳までの者に対し、医療費を70歳から74歳までの方の一部負担分と同様になるよう助成し、高齢者の経済的負担の軽減を図る。 ※入院時の標準負担額は本人負担。	2013年 3月末現在0	24年度実績 21,371 (千円)	1971.4.1 (昭和46)
障がい者等医療費助成 (保健医療総務課)	身体障がい者手帳1級から3級の者、精神障がい者保健福祉手帳1級・2級の者、IQ50以下の者に対し(65歳以上は身障手帳4級の一部の者及びびねたきりの者に対しても)医療費の自己負担分を助成し、障がい者等の経済的負担の軽減を図る。 ※入院時の標準負担額は本人負担	2013年 3月末現在 10,475	24年度実績 1,575,785 (千円)	1972.7.1 (昭和47)
小児医療費助成 (子育て給付課)	中学校卒業までの小児に対し下記の通り医療費を助成し、保護者の経済的負担の軽減及び小児の福祉の増進を図る。	2013年 3月末現在 47,881 ※小児医療証の交付を受けている人数	24年度実績 1,581,855 (千円)	1974.1.1 (昭和49)

対象者	助成内容	保護者の所得制限
0～ 小学校卒業まで (小児医療証あり)	入院・通院医療費の自己負担分	なし
中学生 (小児医療証なし)	入院医療費の自己負担分	旧児童手当法の特例給付限度額未滿

制度名	助成内容	対象人員(人)	助成額	開始年月日
	※入院時の標準負担額は本人負担			
ひとり親家庭等医療費助成(子育て給付課)	18歳迄の子がいる父子家庭・母子家庭等に対して医療費の自己負担分を助成し、ひとり親家庭等の経済的負担の軽減を図る。ただし、所得が児童扶養手当法に規定する限度額未満の場合とする。入院時の標準負担額は本人負担	2013年 3月末現在 6,141	24年度実績 220,996 (千円)	母子 1989.4.1 (平成元) ひとり親 1992.4.1 (平成4)
未熟児養育事業(子育て給付課)	※母子保健法の定めに基づき、身体の発育が未熟なまま出生した乳児が、正常児と同等の諸機能を得るために必要な、入院に係る医療の給付を行うことで、対象児童の健康の保持と増進を図り、保護者の経済的負担の軽減を図る。	2013年 3月末現在 68	24年度実績 18,030 (千円)	2006.4.1 (平成18)

【医療施設】 (2013年(平成25年)3月31日現在)

	施設数	病床数(床)
病院	15	2,975
市立	1	536
その他	14	2,439
診療所	630	193
一般診療所	357	193
歯科診療所	273	—
助産所	13	—
合計	658	3,168

【市民病院】 開院 1971年(昭和46年)10月

入院及び外来の状況 (2012年度(平成24年度))

区分	入院	外来
患者実人員	14,810人	91,071人
患者延人員	180,167人	367,977人
1日平均患者数	493.6人	1,501.9人
1人平均入院・外来日数	12.2日	4.0日
1人1日平均診療収入	61,216円	12,720円
診療収入(税抜)	11,029,077千円	4,680,780千円

(注)感染症病床に係る患者数及び診療収入を除く(税抜き処理)

職員定数の状況(2013年度(平成25年度))

医師	95人
看護職	472人
医療技術職	95人
事務職等	55人
その他	26人
合計	743人

藤沢市立看護専門学校(修業年限3年)

定員 150人	各学年 50人
---------	---------

保健医療センター(保健・医療・福祉をつなぐ県内初めての施設として平成6年7月開設)

保健医療センターの利用 (2012年度(平成24年度))

主な事業	利用者数等	
検診事業	検診受検者数	20,287人
	高度医療機器共同利用件数	11,888件
保健事業	教室・相談等開催回数及び参加者数	1,638回 ; 9,348人(年間延べ)
	健康づくりトレーニング参加者数	26,731人(年間延べ)
薬局事業	休日、夜間等院外処方件数	16,117件
介護保険事業	訪問看護回数及び利用者数	9,114回 ; 1,572人(年間延べ)
	居宅介護ケアプラン作成数	1,123件

【主要死因別死亡者】 2011年(平成23年)

順位	死因	死亡者(人)	割合(%)
1	悪性新生物	941	29.9
2	心疾患	469	14.9
3	脳血管疾患	323	10.2
4	肺炎	294	9.3
5	老衰	166	5.3
6	不慮の事故	125	4.0
7	自殺	81	2.6
8	その他	753	23.8
合計		3,152	100.0

【悪性新生物 部位別】 2011年(平成23年)

順位	部位	死亡者	割合(%)
1	肺・気管支	168	17.9
2	胃	139	14.8
3	すい臓	86	9.1
4	結腸	82	8.7
5	肝臓	81	8.6
6	乳房	51	5.4
その他(直腸・胆のう等)		334	35.5
合計		941	100.0

【感染症発生状況(一類～三類)】 (2012年度(平成24年度))

病名	発生件数	患者数	無症状病原体保有者数	疑似症患者数
結核	68	58	12	0
腸管出血性大腸菌感染症	6	4	3	0

【生活衛生営業関係施設等監視指導】 (2013年(平成25年)3月31日現在)

	監視指導状況		
	施設	実施件数	
許可施設	1,459	1,079	※許可を要
届出施設※	2,311	103	しない施設

【薬局・医薬品販売業等監視指導】 (2013年(平成25年)3月31日現在)

	監視指導状況		
	施設数	実施件数	
許可施設	585	248	※許可を要
届出施設※	1,114	75	しない施設

【動物保護・愛護事業】 (2013年(平成25年)3月31日現在)

犬の登録頭数	負傷犬猫処置数
23,185	47

【食品関係営業施設等監視指導】 (2013年(平成25年)3月31日現在)

	監視指導状況		
	施設数	実施件数	
許可施設	6,202	6,461	※許可を要
報告営業※	3,404	2,236	しない施設

【行政検査】 (2012年度(平成24年度))

区分	検体数	項目数
食品衛生検査	385	2,804
環境衛生検査	56	108
食中毒・感染症検査	280	2,263
計	721	5,175

【依頼検査】 (2012年度(平成24年度))

区分	検体数	項目数
臨床・細菌検査	3,744	10,987
食品衛生検査	11	22
環境衛生検査	5	25
計	3,760	11,034

【後期高齢者等健康診査・がん検診受診状況】（平成24年度実績）

対象者 41,777人（後期高齢者医療制度加入者・無保険者）

受診者数 (受診率52.9%)	判定指導区分		
	異常認めず	要指導	要医療
22,111人	2,216人	4,478人	15,417人

区分	受診者数	受診率	要精検者数	発見がん
肺がん	54,227人	48.8%	1,827人	52人
大腸がん	50,235人	45.2%	4,387人	101人
胃がん	9,338人	8.4%	1,006人	15人
子宮がん	17,016人	27.9%	459人	35人
乳がん	12,824人	19.5%	1,085人	37人
前立腺がん	13,583人	17.3%	1,233人	57人

福祉

【地域福祉】

ボランティア（2013年（平成25年）3月31日現在）

個人	グループ		登録者合計
	数	会員数	
275人	84	2,271人	2,546人

民生委員児童委員（494人定数） 2013年（平成25年）10月1日現在

男	女	計
133人	357人	490人（欠員4人）

【高齢者福祉】

在宅ねたきり高齢者・ひとり暮らし高齢者（2013年（平成25年）10月1日現在）

在宅ねたきり高齢者	ひとり暮らし高齢者
158人	11,925人

【介護保険】

被保険者及び認定の状況（単位：人）

	被保険者数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
1号被保険者	89,345	3,113	2,222	3,297	1,958	1,677	1,259	1,481	15,007
2号被保険者	145,491	63	53	133	81	54	30	50	464
合計	234,836	3,176	2,275	3,430	2,039	1,731	1,289	1,531	15,471
割合		20.5%	14.7%	22.2%	13.2%	11.2%	8.3%	9.9%	100%

※2013年（平成25年）3月31日現在認定者実数、被保険者数は同年3月1日現在

※1 1号被保険者 65歳以上 2号被保険者 40～64歳

※2 要介護状態区分 本人の状態（例）

要支援1 身の回りのことはおおむねできているが、生活上何らかの支援が必要

要支援2 日常生活の中で身の回りのことに支援が必要

要介護1 歩行が不安定で、身の回りのことや入浴などに介助が必要

- 要介護2 立ち上がりや歩行が自分では難しいことが多く、衣服の着脱や身の回りのことなどに介助が必要
- 要介護3 立ち上がりや歩行が難しく、衣服の着脱や身の回りのこと、排泄などに介助が必要
- 要介護4 寝たきりに近い生活で、身の回りのことほとんどに介助が必要
- 要介護5 寝たきりの生活のため、食事を含めて日常生活すべてに介助が必要

主な保険給付の状況(2012年(平成24年度)) (単位：円)

	給付額	構成比
居宅サービス	10,847,543,172	57.1%
居宅介護サービス給付費	9,391,990,389	49.5%
介護予防サービス給付費	1,455,552,783	7.6%
地域密着型サービス	2,251,418,615	11.9%
地域密着型介護サービス給付費	2,217,537,343	11.7%
地域密着型介護予防サービス給付費	33,881,272	0.2%
施設サービス	5,876,225,313	31.0%
施設介護サービス給付費	5,876,225,313	31.0%
介護老人福祉施設	2,917,748,131	15.4%
介護老人保健施設	2,592,253,527	13.7%
介護療養型医療施設	366,223,655	1.9%

地域支援事業費の状況 (2012年(平成24年度)) (単位：円)

	執行額	構成比
地域支援事業費	469,393,837	100.0%
介護予防事業費	82,629,533	17.6%
包括的支援事業費	338,406,941	72.1%
任意事業費	48,357,363	10.3%

第1号被保険者保険料の賦課状況と年額 (単位：人, 円)

	人数	構成比	年額		人数	構成比	年額
第1段階(0.50)	2,013	2.2%	27,000	第7段階(1.10)	8,652	9.7%	59,400
第2段階(0.50)	12,604	14.1%	27,000	第8段階(1.30)	12,582	14.0%	70,200
第3段階(0.60)	3,679	4.1%	32,400	第9段階(1.55)	13,698	15.3%	83,700
第4段階(0.70)	3,790	4.2%	37,800	第10段階(1.75)	3,040	3.4%	94,500
第5段階(0.90)	17,562	19.6%	48,600	第11段階(1.85)	1,080	1.2%	99,900
第6段階(1.00)	8,560	9.6%	54,000	第12段階(2.05)	2,375	2.6%	110,700

※人数は2013年(平成25年)3月31日現在

【障がい福祉】

身体障がい者程度別状況 単位：人 (2013年(平成25年)4月1日現在)

	成人	児童	合計
1級	3,634	94	3,728
2級	1,762	63	1,825
3級	1,668	45	1,713
4級	2,290	25	2,315
5級	497	6	503
6級	469	21	490
合計	10,320	254	10,574

知的障がい者程度別状況 単位：人 (2013年(平成25年)4月1日現在)

	成人			児童			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
最重度	245	161	406	106	46	152	351	207	558
重度	206	153	359	93	36	129	299	189	488
中度	244	170	414	94	53	147	338	223	561
軽度	270	123	393	235	109	344	505	232	737
合計	965	607	1,572	528	244	772	1,493	851	2,344

精神障がい者程度別状況・自立支援医療費(精神通院) 単位：人
(2013年(平成25年)4月1日現在)

精神障がい者保健福祉手帳				自立支援医療 (精神通院)
1級	2級	3級	合計	
395	1,597	523	2,515	4,793

【社会福祉施設】

生きがい福祉センター(設立1978年(昭和53年)4月1日)
会員の登録状況 (2013年(平成25年)3月31日現在)

高齢者	障がい者	家庭女性	会員数
2,246人	20人	50人	2,316人

就業状況及び配分金

	就業延人員	受託	配分金	1人当り配分
高齢者	122,829人	6,093件	476,949,632円	499,424円
障がい者	4,199人	76件	2,305,897円	104,814円
家庭女性	2,314人	553件	15,160,263円	445,890円

いきいきシニアセンター(老人福祉センター) (2012年度(平成24年度)実績)

施設名	開設年月	利用者数	1日平均
やすらぎ荘	昭和44年7月	75,680人	256.5人
湘南なぎさ荘	平成3年7月	89,555人	303.6人
こぶし荘	平成11年5月	140,686人	476.9人

老人ホーム (2013年(平成25年)10月1日現在)

種別	名称	所在地	定員(人)
養護老人ホーム	藤沢養護老人ホーム	鶴沼 1559	100
	養護老人ホーム 湘風園	寒川町大蔵 800	100
特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム鶴生園	片瀬海岸 1-7-9	90
	特別養護老人ホーム睦愛園	亀井野 2520-3	50
	特別養護老人ホーム白鷺苑	用田 820	54
	介護老人福祉施設芭蕉苑	遠藤 35	50
	介護老人福祉施設藤沢特別養護老人ホーム	鶴沼 1559	80
	特別養護老人ホームラポール藤沢	稲荷 345	54

種 別	名 称	所 在 地	定員(人)
	特別養護老人ホーム村岡ホーム	渡内 3-8-60	58
	グリーンライフ湘南	石川 3928-5	84
	特別養護老人ホームみどりの園	小塚 370-1	100
	特別養護老人ホームかりん	城南 1-22-7	90
	藤沢愛光園	大庭 5526-2	100
	藤沢富士白苑	長後 2722-1	140
	特別養護老人ホームラポール藤沢サテライト城南	城南 4-9-8	16
	地域密着型小規模特別養護老人ホームみどりの園鶴沼	鶴沼桜が岡 2-1-16	29

地域包括支援センター

(2013年(平成25年)10月1日現在)

名 称	所 在 地
藤沢市片瀬地域包括支援センター	片瀬 4-9-22 片瀬しおさい荘内
藤沢市鶴沼南地域包括支援センター	鶴沼海岸 2-10-34 鶴沼市民センター内
藤沢市鶴沼東地域包括支援センター	鶴沼桜が岡 4-14-13 タックハウス鶴沼1階
藤沢市辻堂地域包括支援センター	辻堂東海岸 1-12-27 マイタウン海岸通りA号室
藤沢市村岡地域包括支援センター	村岡東 1-1-1
藤沢市藤沢地域包括支援センター	藤沢 1063-13 新倉ビル1階
藤沢市明治地域包括支援センター	辻堂神台 2-2-1 アイクロス湘南2階
藤沢市善行地域包括支援センター	善行 1-3
藤沢市湘南大庭地域包括支援センター	大庭 5527-1 藤沢市保健医療センター2階こまよせ荘内
藤沢市六会地域包括支援センター	亀井野 4-8-1 六会市民センター内
藤沢市湘南台地域包括支援センター	湘南台 1-8 湘南台市民センター内
藤沢市遠藤地域包括支援センター	遠藤 2984-3 遠藤市民センター内
藤沢市長後地域包括支援センター	長後 513 長後市民センター内
藤沢市御所見地域包括支援センター	打戻 1760-1 御所見市民センター内

太陽の家 (2013年(平成25年)4月1日現在)

区分	定員	開所
しいの実学園 (児童発達支援センター)	60人	1975年(昭和50年)6月1日
藤の実学園 (生活介護)	60人	

区分	平成24年度 利用状況	施設開所
太陽の家体育館	障がい者関係利用者数 14,471人 その他の利用者数 11,433人	1980年(昭和55年)10月1日

点字図書館 (2013年(平成25年)4月1日現在)

区分	種類	数量	施設開所	
点字図書館	点字図書	タイトル	2,673	1975年(昭和50年)6月1日
		冊数	7,632	
	テープ	タイトル	3,156	
		本数	17,829	
	デイジー	タイトル	3,314	
		枚数	3,319	
登録ボランティア数		210		

障がい者介護給付費

- ①居宅における福祉サービス
居宅等において、入浴・排泄・食事等の介護、調整・掃除、生活等に関する相談と助言、その他生活全般にわたる支援を行う。
- ②短期入所
施設等に短期入所し、入浴・排泄・食事等の介護を行う。
- ③障がい児通所支援
障がい児に、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練を行う。
- ④施設等における入通所サービス
施設等において食事・入浴・排泄等の介護及び日常生活上の支援を行う。

(単位：円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
①居宅における福祉サービス	228,375,896	267,102,850	367,613,943
②短期入所	82,696,327	83,105,479	103,113,657
③障がい児通所支援	193,232,271	232,453,471	470,898,263
④施設等における入通所サービス	2,306,900,042	2,467,365,122	2,800,073,343

生涯学習

【図書館】

総合市民図書館 (1986年(昭和61年)10月開館)
 南市民図書館 (1987年(昭和62年)従来の中央図書館を改組)
 辻堂市民図書館 (1993年(平成5年)7月開館)
 湘南大庭市民図書館 (2000年(平成12年)4月開館)
 市民図書室 11ヶ所
 図書館のオンライン化 (2005年(平成17年)7月インターネット予約サービスを開始)
 (施設別端末設置数) (2013年(平成25年)3月末現在)

項目	館別					合計
	総合 市民図書館	南 市民図書館	辻堂 市民図書館	湘南大庭 市民図書館		
業務端末(インターネット端末含)	50	16	17	29	112	
タッチパネルOPAC	4	2	4	5	15	
キーボードOPAC	7	8	6	7	28	
サーバー	6	0	0	0	6	
プリンター	8	6	6	5	25	
大学用パソコン	2	1	1	1	5	
公共端末	1	0	0	0	1	
合計	78	33	34	47	192	

図書館統計

図書及び視聴覚資料 (2013年(平成25年)3月末現在)

	総合 市民図書館	南 市民図書館	辻堂 市民図書館	湘南大庭 市民図書館	市民 図書室	合計
件数	532,686	184,364	186,238	310,846	176,117	1,390,251

※市民1人当りの資料件数3.33件

登録者数 (2013年(平成25年)3月末現在)

	総合 市民図書館	南 市民図書館	辻堂 市民図書館	湘南大庭 市民図書館	市民 図書室	合計
人数	46,826	33,954	29,182	22,263	29,897	162,122

貸出件数 (2013年(平成25年)3月末現在)

年度	個人貸出				
	総合 市民図書 館	南 市民図書 館	辻堂 市民図 書館	湘南大庭 市民図書 館	市民図書 室
H19	1,046,306	648,259	793,168	890,263	764,268
H20	1,073,054	675,968	790,788	874,435	786,735
H21	1,085,936	689,487	834,536	864,723	826,695
H22	1,069,920	689,882	784,010	824,929	822,273
H23	1,070,741	691,826	702,876	800,867	815,542
H24	1,080,400	681,884	681,093	791,125	826,151

年度	団体貸出	合 計	人口 1人当たり 貸出件数
	(学校、施設、 読書会等)		
H19	13,797	4,156,061	10.32
H20	12,361	4,213,341	10.38
H21	12,882	4,314,259	10.57
H22	14,409	4,205,423	10.22
H23	15,434	4,097,286	9.87
H24	19,733	4,080,426	9.78

視聴覚貸出機材保有状況(2013年(平成25年)3月末現在)

機材名	数量	機材名	数量
16ミリ映写機	14台	ビデオデッキVHS	1台
スライド映写機	2台	ビデオ三脚	3台
OHP	1台	ビデオライト	2台
DATカセットレコーダー	1台	ワイヤレス拡声アンプ	1台
スクリーン	17	デスクトッププレゼンター	1台
暗幕	8セット	液晶プロジェクター	2台

【公民館】

現在13館, 2分館

単独公民館 藤沢、村岡

市民センター併設公民館

片瀬、辻堂、明治、善行、六会、湘南台、湘南大庭、長後、遠藤、御所見、鶴沼

公民館分館 済美館(藤沢公民館分館)、片瀬しおさいセンター(片瀬公民館分館)

・利用件数 149,921件 (2012年度(平成24年度))

・利用人数 2,851,472人 (2012年度(平成24年度))

平成24年度対象別公民館事業数

	保護者 と子	未就 学児	小学 生	中学・ 高校生	成人	女性	男性	高齢 者	外国 人市民	障が い者	市民 一般	その 他	合計
藤沢	2	0	14	1	14	2	1	2	1	2	6	2	47
鶴沼	7	0	15	0	16	3	0	1	0	0	8	4	54
村岡	6	1	13	1	6	1	0	2	0	0	8	3	41
六会	10	0	11	0	13	2	3	1	0	2	8	0	50
片瀬	6	0	11	1	16	1	0	1	0	0	17	4	57
明治	1	0	0	0	11	1	1	0	0	0	6	28	48
御所見	5	0	17	0	2	0	0	1	0	0	31	5	61
遠藤	7	1	19	1	13	1	0	1	0	0	5	0	48
長後	3	0	12	0	11	2	0	1	0	2	18	0	49
辻堂	7	0	11	0	6	1	0	2	0	0	16	7	50
善行	13	0	18	0	13	4	0	1	0	0	25	1	75
湘南大庭	6	0	12	0	12	2	1	1	0	0	11	2	47
湘南台	6	0	7	0	18	1	1	1	0	0	1	0	35
合計	79	2	160	4	151	21	7	15	1	6	160	56	662

【スポーツ】(2013年(平成25年)3月31日現在)

- 秋葉台文化体育館(平成24年度) 利用者 83,503件 222,455人
- 秩父宮記念体育館(平成24年度) 利用者 85,274件 247,805人
- プール (平成24年度) 利用者 石名坂(屋内) 56,701人
秋葉台(屋内・屋外) 147,726人
八部(屋内・屋外) 149,550人
- 学校開放体育施設(平成24年度) 利用者 校庭 54校 259,960人
体育館 54校 166,969人
プール 35校 7,306人
- 地域スポーツ (平成24年度)各地区レクリエーション大会参加者 36,855人

公園

【公園の現況】(2013年(平成25年)4月1日現在)

種別	数	面積(ha)
街区公園	254	42.40
近隣公園	23	25.85
地区公園	2	19.55
総合公園	3	48.65
運動公園	2	13.42
風致公園	1	2.87
墓園	1	36.87
広域公園	2	19.06
緑地等	10	13.74
合計	298	222.41

*各面積は、百平方メートル未満を四捨五入して、ヘクタール表示をしています。(県立公園含む)

3 地区のあらまし

六会地区

1889年（明治22年）に亀井野・石川・西俣野・円行・今田・下土棚の6つの地区による六会村が誕生しました。昭和17年に藤沢市と合併した当時は、農業中心の地区でした。昭和40年代に土地区画整理事業が行われて以降、都市化が進み、現在は、多くの自然環境に恵まれた緑豊かな宅地、農地共存の地域となっています。

六会地区は自然環境に恵まれて、俣野地区を中心に多くの山林が残っています。地区を挟むように流れる境川・引地川やそこに流れを注ぐ一色川周辺などの風景、そして地域の歴史も古く、様々ないわれを伝える名所旧跡など散策に適しているところが多数あります。

地区の南部には、多くの農地があり、四季折々に新鮮な野菜や果樹が生産されています。その農地の広がりや遠くに望む富士山や丹沢連峰の山並みは人々の安らぎになっています。

日本大学生物資源科学部、日大藤沢高校・中学校、多摩大学、藤沢工科高校、藤沢養護学校あるなど、学園都市としての地域の顔を持ちます。そのような環境から、学校・家庭・地域が連携し、地域社会全体で子どもたちの健やかな成長を支援しています。

片瀬地区

古くは縄文・弥生時代頃から人が住み始め、鎌倉時代には幕府と京をつなぐ要所となり、江の島は信仰の地でもありました。境川（片瀬川）の東側に位置しているため永く鎌倉郡に属していましたが、1947年（昭和22年）に藤沢市へ編入されました。藤沢市の南東部の海岸線に位置し、面積は3.02km²で全市の4.3%を占めています。湘南の海と山に恵まれ、東は鎌倉市に隣接し、南海上の江の島、海岸に面した片瀬海岸、境川東岸の片瀬、山林を宅地造成した片瀬山・片瀬目白山など様々な特徴のある地形となっています。

主な鉄道交通機関として、地区内を縦断して住宅の軒先を縫うように江ノ電が走り、竜宮城を模した独特の雰囲気のある駅舎を終点に持つ小田急電鉄江ノ島線と全国的にも珍しい懸垂型モノレールを採用した湘南モノレールの3路線・5駅があります。

全国有数の観光・景勝地江の島と湘南海岸を抱え、海水浴やマリンスポーツなどのレジャー、ふじさわ江の島花火大会などのイベントをはじめ、江の島シーキャンドル（展望灯台）、サムエル・コッキング苑、江の島岩屋、新江ノ島水族館などの観光資源が多数あることから、年間1,500万人を超える多くの観光客が訪れます。

また、歴史ある神社・仏閣も多数あり、史跡が多く存在する旧街道“忍のしま

道”は、歴史と文化を感じることでできる地域の生活道路のひとつとなっています。市無形文化財の「片瀬餅つき唄」が子どもたちに受け継がれており、長い歴史を誇る片瀬諏訪神社例大祭、江の島八坂神社例大祭（天王祭）、龍口寺法難会などの祭りでは、地域を挙げたにぎわいとなります。

明治地区

明治地区は、JR辻堂駅の北側に位置し、藤沢西部の相模原台地、座間・高座丘陵の南端に位置するおおむね平坦な地勢となっており、西は茅ヶ崎市と接し、東は引地川が流れています。大庭南部に広がる引地川緑地ゾーン、城南の斜面緑地が一体となった緑の豊かな地域でもあります。総面積は2.92km²で13地区では最も小さい地区となっています。

近年、辻堂駅周辺に大型店の進出が相次ぐとともに、湘南C-Xによる新たなまちが形成されており、地区の人口は増加傾向にあります。

歴史的背景としては、本市の教育文化発祥の地として誇ることができる耕余塾跡をはじめ、藤沢七福神のひとつでもある養命寺、かつての大山詣の起点を示す大山街道道標や鳥居、国の登録有形文化財に指定された旧三觜八郎右衛門家住宅など歴史的資産を有しております。

また、城南の斜面緑地、城稲荷周辺の田園風景、カワセミを見ることができる引地川遊歩道など自然豊かな一面もあります。

各地で行われる祭礼、盆踊りなどの伝統行事、各種サークル、ボランティア活動など地域住民による活動も活発な地域です。

御所見地区

1889年（明治22年）市制町村制実施により、用田・葛原・菖蒲沢・打戻・瀬郷・宮原の6つの村が合併して一つの村となり、菖蒲沢にあった御所見塚にちなんで御所見村と名づけられました。その昔、江戸から十四里（56km）のところに位置し、大山街道（現在の県道横浜伊勢原線）と中原街道（現在の県道丸子中山茅ヶ崎線）が交わる用田辻付近は、用田宿として旅籠や茶店が集まり、大山参りの人たちでにぎわっていたとされています。その後、1955年（昭和30年）藤沢市合併後に現在の御所見地区となりました。

地勢を活かした農業が盛んになっており、生産品目は野菜、植木、養豚等が中心の都市型農業であり、本市における農業振興地域として農業基盤整備を中心にまちづくりが進められてきました。そのために多くの自然が残っています。

打戻地区の小出川（遠藤から打戻を通り芹沢（茅ヶ崎市）に至る延長3km）には、古くから彼岸花が自然群生しており、周囲の景観を堪能しながら川縁を散策するコースとなっています。この彼岸花は、18年ほど前から観光協会のホームページでも紹介され、今では観光情報誌にも度々紹介されるほど関心を集め、近年、小田急電鉄や観光協会探訪クラブが主催するウォーキングイベントが開催

されるなど、開花時期には多くの方々にぎわいを見せています。

また、宮原地区では、毎年4月末から5月初めになると「レンゲの里まつり」が催されます。これは、宮原地域から荒廃地を無くすことを目的として、2002年（平成14年）に地元農業者による自主活動としてスタートしたものです。耕作放棄地を活用した景観形成の取り組みが、農地・水・環境保全を向上させたばかりでなく、地域観光の資源として育っています。

遠藤地区

遠藤地区は、藤沢市の西北部に位置し、面積は4.96 km²、農地が多く、東は六会地区石川、西は御所見地区打戻との間に挟まれ、南北に長い地形となっています。地区は台地部と谷戸部に分けられ、台地上の北東部から南東部にかけて、中世の頃から発達した集落が多く存在し、谷戸部は琵琶島等に源流を持つ小出川を中心に形成され、古くからその富んだ地形を利用して農業を中心に町を形成してきました。

昭和60年代に入り、西部に「健康と文化の森」構想が展開されたことを契機に大きな変化を遂げました。現在は慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスが開校され、周辺一帯の幹線道路が複数整備されるなど都市基盤整備も進展しています。

総じて農地をはじめ空閑地が多く、都市部に比べのどかな雰囲気のある地区で、自然や田園が地区の財産といえます。

地区の西部には藤沢三大谷戸の一つである遠藤笹窪谷（谷戸）があり、樹林地、湿地には多様な生物が生息している一方、竹林では竹炭祭りが開催され、タケノコなど農産物が販売されるなど、にぎわいを見せています。

小出川では、市民団体がボランティアで管理するあじさいや彼岸花など、四季おりおりの自然が残されています。あじさいや彼岸花の時期には祭りが開催され、市内外から大勢の観光客が集まり、散策を楽しむ一方、地域内の畑地で栽培された野菜などを販売する直売所で、買い物を楽しむ方も多く、北部地域の新しい観光地として注目を集めているところです。

一方では、秋葉台公園の文化体育館は藤沢市北部方面のスポーツ拠点として、運動施設・複合プールなどの利用で多くの方々が訪れています。

長後地区

長後地区の地勢としては、藤沢市の北東部に位置し、面積は5.21 km²で全市の7.5%を占めています。東に境川、西に引地川が流れ、古くから大山街道と滝山街道が交差する交通の要衝、宿場町として江戸時代から旅籠や商店が立ち並び、付近の農村の中心地として栄えるなど、豊かな歴史に支えられた地区となっています。

周辺は緑豊かで、果樹園が散在し、季節の果物を産出し、「果物の長後」として有名です。特に、梨やブドウの栽培が盛んで、なかでも長後地区の農家の方によ

り品種改良された「藤稔」という品種は全国ブランドとなっており、果樹栽培は長後地区の農家の貴重な支えとなっています。

また、史跡も多く、平安時代末期には桓武平氏の流れをくむと言われる「渋谷氏」がこの地に移住し、居城であったと言われる天満宮は現在では長後地区の鎮守として、毎年盛大に祭礼が行われています。

さらに、里山など、のどかな自然環境を満喫できる箇所が点在し、新旧の住民が互いに尊重しあい、人情味あふれる街として発展しています。

辻堂地区

辻堂地区は、藤沢市の南西部に位置し、面積は4.46 km²で全市の6.4%を占めています。南は湘南海岸を臨み、東の鵠沼地区、北の明治地区、西は茅ヶ崎市に接する、気候温暖で風光明媚な海沿いの地区です。地区の大部分は閑静な住宅地で、特に辻堂太平台や辻堂東海岸などは風致地区に指定され、緑豊かな住環境が保たれています。

地区南西部は、演習場跡地を小・中学校、特別支援学校（養護学校）、湘南工科大学、同附属高等学校が集まる文教地区、辻堂団地など計画的な開発がされました。1916年（大正5年）に、駅舎用地と建設資金を地元有志が提供し、当時としては先駆的な形で辻堂駅が開設され、それをきっかけに住宅地として開発されるようになりました。

現在の中心地は辻堂駅ですが、昔の辻堂村は宝泉寺、諏訪神社近くの「四ツ角」を中心に集落が形成され、それが辻堂の地名の由来といわれています。

“湘南の原風景”が残る辻堂海岸では、江の島、富士山、烏帽子岩、サーフィン、地引き網を見ることができます。今その面影はありませんが、昔は地区の南側一帯に砂丘が広がっており、有名な『浜辺の歌』（作詞：林古溪）は、辻堂海岸の風景を歌ったものとされています。

宝珠寺や宝泉寺、諏訪神社など多くの名所・旧跡が現存している一方で、新しい街「Fujisawa サステイナブル・スマートタウン」の整備が着々と進められています。7月の諏訪神社例大祭（市有形文化財：人形山車）や8月の辻堂海浜公園「辻の盆」などは、地域をあげたにぎわいを見せます。

善行地区

善行地区は、藤沢市のほぼ中央部、神奈川県中西部から広がる相模野台地の南端に位置し、面積は6.09 km²で、全市の約9%を占めています。

地区内を流れる三本の河川の浸食などにより、台地と谷間（たにあい）が入り組んだ複雑な地形をしており、豊かな自然と緑が織りなす景観に囲まれた「坂道」に象徴されるまちです。

起伏の多い地形を持つ善行は、山林、農地、河川など多くの自然に恵まれ、変化に富んだ緑の景観をつくりだしています。豊かな緑の景観に囲まれるように、

東南部には文教地区、中北部に広がる住居地区、西南部には工業地区が配置され、様々なまちの要素がうまく調和したまちづくりがなされています。

関東屈指のゴルフ場のクラブハウスとして建設され、数奇な運命を辿ることになる昭和の歴史的建造物「グリーンハウス」や、手付かずの自然が残る石川丸山谷戸など、善行固有の地域資源は、そこに住む人びとに安らぎを与え、やさしさを育ててきました。

善行はまた、地域活動が大変活発な地区です。高齢者の生活支援や生きがいがづくり、子育て世代への支援を行う地域独自の団体や、希薄になりつつある地域のコミュニケーション力を取り戻そうとする試みなど、地域の課題に対する、善行ならではの独創的な取り組みが身近なところで積極的に行われています。

湘南大庭地区

湘南大庭地区は、藤沢市の北西部、辻堂駅から北に2.00kmに位置し、面積は5.16km²で、緩やかな起伏に富んだ緑豊かな丘陵地になっております。東境には引地川が流れ、大庭千枚田と呼ばれた水田地帯が広がり、西境は茅ヶ崎市と接する自然豊かな地域です。

「湘南ライフタウン」と呼ばれているこの地区は、昭和40年代から土地区画整理事業により総合的なまちづくりが行われ、ケヤキ通りを中心に公園や身近な自然を計画的に配置するなど、様々な都市機能を併せ持つ藤沢市を代表する良好な住環境が魅力となっています。

大庭城にまつわる地名として、二番構や駒寄などの地名が残っており、舟地藏には大庭城落城にまつわる悲しい物語が伝承されています。また、大庭城址公園は桜の名所でもあり、お花見の季節には市内外から多くの方々が訪れます。

湘南台地区

湘南台地区は、藤沢市の北部に位置し、昭和40年代に土地区画整理事業により住宅地として拓けた新しいまちで、地勢は境川と引地川に挟まれた台地であり、ほぼ平坦な地形となっています。昭和41年に小田急電鉄江ノ島線湘南台駅が開業し、1999年（平成11年）には相鉄いずみ野線と横浜市営地下鉄が乗り入れ、1日の乗降客数が約15万人にのぼる市北部のターミナル駅として大きく成長し、活況を呈しています。また、湘南台駅は多摩大学や慶應大学湘南藤沢キャンパスに通う学生達の最寄り駅ともなっています。湘南台地区の西部にはいすゞ自動車、桐原工業団地等の工場集積があり、さらに、湘南台文化センターや総合市民図書館、学校などの文化教育施設や、藤沢北警察署、北消防署、藤沢北郵便局などの公共施設が集中しています。

湘南台駅東口に大きな地球儀と宇宙儀がシンボルとなっている湘南台文化センターがあり、そのすぐそばに多くの市民が利用する湘南台公園、さらにその東側に県立境川遊水地公園が広がり、多くの野鳥を観察することができる格好の散策

コースとなっています。

湘南台駅西口には、梅林と竹林が整備された円行公園があり、そのそばを流れる引地川の両岸は桜並木が続き、春には桜の名所として多くの市民の目を楽しませています。また、引地川では5月に鯉流し、8月には灯籠流しが行われ、湘南台の風物詩になっています。毎年クリスマスの時期には、湘南台駅地下通路に大きなツリーが設置され、地域の子供も達が手作りしたオーナメントが飾り付けられ、湘南台駅ロータリーから大通りにかけて一斉にイルミネーションの灯りが点り、道行く人の目を楽しませています。

藤沢市民まつり湘南台ファンタジアは、市北部を代表するお祭りで、湘南台駅東西でパレードが盛大に催され、毎年、多くの観光客が見物に訪れています。

鵜沼地区

鵜沼地区の地勢としては、藤沢市の南部中央に位置し、面積は5.55k㎡で全市の8%を占めています。東の境は境川、西の境は引地川に挟まれ、南は相模湾に面する南北に長い地形となっています。昔の鵜沼は湿地が多く、そこに鵜(くぐい・白鳥の古名)が飛来していたことが「鵜沼」という地名の由来とされています。

鵜沼地区は、古くは皇大神宮を中心に北西部に集落が集中していましたが、明治中期以降、鉄道の開通を契機に、別荘地、保養地、住宅地として開発が進みました。温暖な保養地には芥川龍之介など多くの文豪が執筆活動のため滞在し、岸田劉生の「麗子像」という名画がうまれるなど、歴史と文化のまちでもあります。今も松と玉石垣のまちなみが当時の面影を残しています。

現在では、13地区最大の約5万5千人の人口を有する住宅地に、JR、小田急電鉄、江ノ島電鉄の8つの駅と、藤沢駅南口周辺の市内有数の商業地帯などの人と活気があふれ、富士山を望む風光明媚な鵜沼海岸は、サーフィンやビーチバレーなどマリンスポーツの日本の発祥地として、多くの海水浴客が訪れる観光地でもあります。時期によっては海岸越しにダイヤモンド富士を望み見ることができると、豊かな自然の景観に恵まれた緑と海と人が輝くまちです。

皇大神宮の例祭では、藤沢市重要有形文化財に指定されている9基の人形山車が歴史を彩り、お囃子の競演がまつりを盛り上げます。2003年(平成15年)に開設した「鵜沼郷土資料展示室」では、鵜沼の郷土資料を収集するとともに、市民の手による企画展を年3回実施しています。地域のおまつりとして始まった鵜まつりは平成25年度に第5回となり、36店舗の飲食店や地元農水産物の販売、13団体のフラダンス等の出演など年々参加者も増え、春のおまつりとして地域のにぎわいを見せています。

藤沢地区

藤沢地区の地勢としては、藤沢市の中東部に位置し、面積は4.7k㎡、藤沢都心部を含む比較的東西に長い地形になっています。

この地区は、旧東海道を中心として古くから道路や鉄道の整備が進んでおり、現在はJR藤沢駅と小田急江ノ島線藤沢本町駅など、アクセスや利便性の高さから、商店街やオフィス、行政施設や教育施設、医療施設など文化・教育・歴史・医療などが調和した地区となっています。

藤沢地区は古くは遊行寺の門前町として栄え、旧藤沢宿として発展した地区で、旧東海道周辺には遊行寺のほかに白旗神社など、歴史的価値のある神社仏閣や、宿場町時代の姿を残す土蔵や商家建物など、歴史的文化財が今なお多く点在しています。

旧藤沢宿を舞台とした遊行寺の「遊行の盆」や源義経を祀る白旗神社での「白旗まつり」などは、古くからの歴史的背景を活かしたお祭りで、市内の方はもとより、市外からも多くの方が訪れ、にぎわいをみせています。

また、景観スポットとして古くから桜の名所として知られている「伊勢山公園」は、地元のみなさんに大変親しまれています。

村岡地区

村岡地区の地勢としては、藤沢市の南東部に位置し、面積は4.08km²で全市の5.9%を占めています。西は藤沢駅周辺地域、東は鎌倉市に隣接しています。古くから歴史的資源や自然資源に恵まれ、南部の川名にある新林公園や川名緑地などは、四季を通じて様々な動植物を楽しむことができます。また、村岡北部では、現在も柄沢特定土地区画整理事業が進められ、市内でも特に人口増が見込まれている地域となっています。今後は、村岡新駅を中心としたまちづくりが進められることとなります。

村岡地区内には、平安の頃平良文が築いた村岡城（現在は城址）や中世に北条氏が建てたと伝えられる二伝寺や天嶽院など多くの史跡が残っています。また、弥勒寺、荒神神社、宮前御霊神社、高谷大神宮、日枝神社、川名御霊神社、柄沢神社などには、七福神が祀られており、この七福神などを元旦にまわる「元旦歩行大会」は、毎年恒例となっており、市内外からの参加者も含め、多くの方が参加され、参拝されています。

村岡公民館で活動している料理サークルが、「第1回湘南藤沢グル麺コンテスト」でグランプリを受賞したことを機に、地域活性化のため、町おこしとして、5つの共通ルール（マヨネーズ・ラー油・オイスターソース・藤沢産食材・村岡への郷土愛）で調理した「村岡マヨやきそば」を地区内の加盟店舗で販売しています。

4 財政見通し

この指針の期間における歳入は、企業誘致等による一定の税収増を見込んでいますが、その後の市税収入の減少等も考慮し、増収に寄与する確かな都市の基盤整備への投資による将来的な財源確保が必要となります。

一方、扶助費の継続的な増加や公共施設の老朽化対策等が見込まれるため、歳出においては、経常事業、継続事業について、より効率的な予算執行と計画的な事業運営を進めながら、重点施策の実現を図る必要があります。

次ページの表は、これらを踏まえた歳入歳出の見通しであり、表1は歳入見込として市税をはじめとする自主財源と依存財源の見込を表しています。表2は歳出見込であり、人件費や生活保護法、児童福祉法などに基づく経済的援助などの扶助費、借入金を返済するための経費である公債費からなる義務的経費とその他毎年度持続して固定的に支出される経費を合計して経常的経費として集計しています。

この経常的経費を歳入見込額から差し引いた額が政策的経費充当可能財源であり、重点施策を実現するために充てられる額の上限となります。

(1) 一般会計ベース

平成22年度～24年度の年平均増減率（複利）により、平成26年度予算をベースに財政見通しを積算したものです。経常的経費には、義務的経費に消費的経費及び特別会計等への繰出金を加算しています。なお、経常的経費からは重点事業に係る扶助費、補助費等を除くとともに、特別会計における重点事業費は繰出金により担保し、重点事業費には含まないこととしています。（単位は千円）

（歳入の見通し）

	（単位：千円）				
（歳入見込）	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
自主財源計	91,154,471	91,198,909	91,243,368	91,287,849	91,332,352
市税	78,793,000	77,108,000	77,143,000	77,503,000	76,053,000
その他	12,361,471	11,790,717	11,288,135	10,844,029	10,450,382
依存財源計	40,132,529	41,527,596	44,587,226	40,631,752	40,888,492
地方譲与税等	1,831,000	1,618,175	1,430,087	1,263,861	1,116,957
地方消費税交付金	4,860,000	6,163,782	7,976,659	7,976,659	7,976,659
国庫支出金	20,229,965	20,533,191	20,840,962	21,153,346	21,470,413
県支出金	7,084,164	7,167,748	7,252,318	7,337,886	7,424,463
その他	6,127,400	6,044,700	7,087,200	2,900,000	2,900,000
合計 ー①	131,287,000	132,726,505	135,830,594	131,919,601	132,220,844

※ 依存財源の「その他」には起債が含まれ、平成26年度から28年度までは新庁舎整備に伴う起債等を見込んでいます。

(歳出の見通し)

(単位:千円)

(歳出見込)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
経常的経費計 ②	114,863,863	114,868,458	116,503,145	117,821,032	119,395,997
義務的経費	67,676,993	69,066,916	70,367,581	71,345,935	72,575,794
人件費	26,204,231	26,466,273	26,730,935	26,998,244	27,268,226
扶助費	33,105,309	34,003,969	34,927,024	35,875,136	36,848,985
公債費	8,367,453	8,596,674	8,709,622	8,472,555	8,458,583
その他	47,186,870	45,801,542	46,135,564	46,475,097	46,820,203
政策的経費投入可能財源 ③ (①-②)	16,423,137	17,858,047	19,327,449	14,098,569	12,824,847

(重点事業費等の見通し)

一般会計ベース	平成26年度	平成27年度	平成28年度
政策的経費投入可能財源 ③	16,423,137	17,858,047	19,327,449
経常的経費を含まない重点事業費④	5,010,168	9,951,282	11,622,741
重点事業費	6,850,039	12,864,831	13,697,506
1_みんなの命と財産を守る災害などへの備えを進めよう!	3,257,717	8,074,607	8,226,694
2_みんなとまちが元気になる魅力と活力を生み出そう!	752,123	1,229,873	2,617,800
3_みんなが誇りと愛着の持てる地域をつくろう!	351,156	692,624	712,574
4_みんなの絆で藤沢っ子の明日を築こう!	1,575,038	1,072,460	1,065,586
5_みんなの希望と笑顔があふれる健やかな暮らしを支えよう!	914,005	1,795,267	1,074,852
その他政策的経費事業費⑤(③-④)	11,412,969	7,906,765	7,704,708
	(予算額)	(予算見積額)	(予算見積額)

(2) 普通会計ベース

平成22年度～24年度の年平均増減率（複利）により，平成26年度予算をベースに財政見通しを積算したものです。繰入金，繰出金は普通会計内において相殺されることを前提に，歳入歳出双方に加算していません。なお，経常的経費からは重点事業に係る扶助費，補助費等を除きます。（単位は千円）

（歳入の見通し）

（歳入見込）	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
自主財源計	96,120,403	94,392,484	94,418,672	94,797,938	93,391,317
市税	78,793,000	77,108,000	77,143,000	77,503,000	76,053,000
その他	17,327,403	17,284,484	17,275,672	17,294,938	17,338,317
依存財源計	39,159,726	39,907,466	42,745,098	38,553,874	38,562,726
地方譲与税等	1,817,820	1,670,094	1,534,373	1,409,681	1,295,122
地方消費税交付金	4,860,000	6,163,782	7,976,659	7,976,659	7,976,659
国庫支出金	18,667,791	18,645,470	18,623,175	18,600,907	18,578,666
県支出金	7,245,764	7,383,420	7,523,691	7,666,627	7,812,279
その他	6,568,351	6,044,700	7,087,200	2,900,000	2,900,000
合計 -①	135,280,129	134,299,950	137,163,770	133,351,812	131,954,043

（歳出の見通し）

（歳出見込）	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
経常的経費計 ②	99,279,242	101,644,748	103,944,182	105,944,978	108,221,455
義務的経費	66,452,663	68,046,796	69,556,730	70,749,476	72,198,915
人件費	25,874,524	26,482,535	27,104,834	27,741,756	28,393,644
扶助費	32,210,686	32,967,587	33,742,274	34,535,165	35,346,688
公債費	8,367,453	8,596,674	8,709,622	8,472,555	8,458,583
その他	32,826,579	33,597,952	34,387,452	35,195,502	36,022,540
政策的経費投入可能財源 ③（①-②）	36,000,887	32,655,202	33,219,588	27,406,834	23,732,588

（重点事業費等の見通し）

普通会計ベース	平成26年度	平成27年度	平成28年度
政策的経費投入可能財源 ③	36,000,887	32,655,202	33,219,588
経常的経費を含まない重点事業費④	6,832,544	12,451,282	13,622,741
重点事業費	8,672,415	15,364,831	15,697,506
1.みんなの命と財産を守る災害などへの備えを進めよう！	5,080,093	10,574,607	10,226,694
2.みんなとまちが元気になる魅力と活力を生み出そう！	752,123	1,229,873	2,617,800
3.みんなが誇りと愛着の持てる地域をつくらう！	351,156	692,624	712,574
4.みんなの絆で藤沢っ子の明日を築こう！	1,575,038	1,072,460	1,065,586
5.みんなの希望と笑顔があふれる健やかな暮らしを支えよう！	914,005	1,795,267	1,074,852
その他政策的経費事業費 ⑤（③-④）	29,168,343	20,203,920	19,596,847
	（予算額）	（予算見積額）	（予算見積額）

(参考 全会計での重点事業費等の見通し)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
重点事業費	12,842,766	25,996,755	21,941,449
1.みんなの命と財産を守る災害 などへの備えを進めよう!	7,904,221	15,877,607	16,098,694
2.みんなとまちが元気になる魅 力と活力を生み出そう!	752,123	1,229,873	2,617,800
3.みんなが誇りと愛着の持てる 地域をつくろう!	351,156	692,624	712,574
4.みんなの絆で藤沢っ子の明日 を築こう!	1,575,038	1,072,460	1,065,586
5.みんなの希望と笑顔があふれ る健やかな暮らしを支えよう!	2,260,228	7,124,191	1,446,795

5 評価

評価の指標となるアンケート等調査結果については、次のとおりです。

これらの指標は、3年間の調査結果をもとに、社会経済情勢の変化等を踏まえ、施策の評価に用います。

めざす都市像・基本目標に関する指標

区分	内容	指標	23年度	25年度
都市像1	郷土愛あふれる藤沢～松風に人の和 うるわし 湘南の元気都市～	誰もが快適に暮らせ、居心地のいいまちであること。	64.2%	69.7%
都市像2	郷土愛あふれる藤沢～松風に人の和 うるわし 湘南の元気都市～	子供が大人になっても愛着の持てるまちであること。	68.8%	70.3%
基本目標1	安全な暮らしを守る	災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること。	38.1%	38.6%
基本目標2	文化・スポーツを盛んにする	地域の記憶や文化が継承され、発展すること。	42.5%	43.1%
基本目標3	豊かな環境を創る	まちと自然環境の調和がとれていること。	66.8%	62.6%
基本目標4	子どもたちを守り育む	子どもを安心して育てられる環境があること。	64.1%	64.5%
基本目標5	健康で安心な暮らしを支える	保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと。	73.1%	65.3%
基本目標6	地域経済を循環させる	産業の活力を高め、地域が元気になること。	33.5%	30.4%
基本目標7	都市基盤を充実する	移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること。	66.0%	51.4%
基本目標8	市民自治・地域づくりを進める	市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること。	43.7%	37.6%

重点施策指標（まちづくりテーマ1）

まちづくりテーマ1 みんなの命と財産を守る災害などへの備えを進めよう！

重点施策	成果指標	23年度 調査結果	25年度 調査結果
1_災害に強いまちづくりの推進	地域で災害への備えができていると感じる人の割合	13.1%	40.1%
2_津波対策の充実・強化	地域で災害への備えができていると感じる人の割合	13.1%	40.1%
3_消防・救急の充実・強化	消防や救急の活動が充実していて、安心して いると感じる人の割合	—	55.0%
4_犯罪や交通事故のない明るいまち づくりの推進	犯罪のない、明るいまちであると感じる人の割合	—	58.4%
	犯罪のない、明るいまちであると感じる人の割合	—	58.4%
5_公共施設の再整備の推進	公共施設を次世代のために、より良い状態で 引き継いでいると感じる人の割合	24.7%	28.5%
6_都市基盤の整備・充実	道路が整備され、快適であると感じる人の割合	—	55.0%
	公共施設を次世代のために、より良い状態で 引き継いでいると感じる人の割合	24.7%	28.5%
	橋や下水道の老朽化対策についての実現度	—	10.6%
	市の北部の道路や住宅の整備についての満足度	—	22.0%
	交通ネットワークが充実していると感じる人の割合	37.2%	44.4%

※ 「—」は、未調査

重点施策指標（まちづくりテーマ2）

まちづくりテーマ2 みんなとまちが元気になる魅力と活力を生み出そう！

重点施策	成果指標	23年度 調査結果	25年度 調査結果
1_都市拠点の活性化と新たなまちづくりの推進	市の北部の道路や住宅の整備についての満足度	—	22.0%
	駅をはじめとする都市の拠点の整備についての満足度	—	28.2%
	交通ネットワークが充実していると感じる人の割合	37.2%	52.5%
2_市内商工業・農水産業・観光の活性化と雇用の促進	市内の商業に活力があると感じる人の割合	19.6%	37.2%
	新しい産業の立地についての満足度	7.1%	14.6%
	市内の農水産業に活力があると感じる人の割合	16.1%	36.0%
	市内の商業に活力があると感じる人の割合	19.6%	37.2%
	市内の観光に活力があると感じる人の割合	—	56.9%
	社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであることの実現度	29.4%	29.4%
3_多彩なシティプロモーションの推進	市民が自慢できるまちであることの実現度	63.1%	60.6%
4_市民活動の支援と市民協働の推進	市民自らが藤沢を良くする活動に積極的であるとを感じる人の割合	38.4%	34.0%
	市民主体のまちづくりに対する満足度	9.8%	18.6%

※ 「—」は、未調査

重点施策指標（まちづくりテーマ3）

まちづくりテーマ3 みんなが誇りと愛着の持てる地域をつくろう！

重点施策	成果指標	23年度 調査結果	25年度 調査結果
1_郷土文化資産の保全・活用の推進	豊かな地域の資源を大切にし、楽しい体験ができるまちであることの実現度	44.4%	37.4%
	美しい街なみなど、市内の景観づくりについての満足度	21.8%	27.2%
	市民が自慢できるまちであることの実現度	63.1%	60.6%
2_市民の文化芸術活動への支援	市内に文化的な魅力があると感じる人の割合	23.5%	48.0%
3_地域コミュニティ活動への支援	福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていることの実現度	44.3%	44.6%
	地域で支え合っていると感じる人の割合	23.7%	33.8%
4_13地区のまちづくりの推進	市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいることの実現度	43.7%	37.6%
5_花と緑あふれる持続的な環境の保全	斜面緑地や樹木など緑の保全についての満足度	23.3%	27.2%
	自然エネルギーが有効に活用されているまちであると感じる人の割合	—	17.3%

※ 「—」は、未調査

重点施策指標（まちづくりテーマ4）

まちづくりテーマ4 みんなの絆で藤沢っ子の明日を築こう！

重点施策	成果指標	23年度 調査結果	25年度 調査結果
1_地域のニーズに即した子ども・子育て支援の充実	安心して子育てができる環境づくりについての満足度	64.1%	64.5%
2_待機児童解消をはじめとする保育環境の充実	保育園の待機児童の解消についての満足度	—	11.0%
3_困難を有する子ども・若者の自立支援	子どもが、住んでいる地域に誇りを持ち、地域で暮らし続けていることの実現度	66.2%	60.2%
4_支援を必要とする児童生徒への対応の充実	個性豊かな児童生徒が育成される開かれた学校づくりについての満足度	9.40%	16.8%
5_子どもたちの笑顔あふれる学校づくりの推進	個性豊かな児童生徒が育成される開かれた学校づくりについての満足度	9.40%	16.8%

※ 「—」は、未調査

重点施策指標（まちづくりテーマ5）

5. みんなの希望と笑顔があふれる健やかな暮らしを支えよう！

重点施策	成果指標	23年度 調査結果	25年度 調査結果
1_健康づくりの推進	保健, 医療, 福祉, 健康などの生活環境が整い暮らしやすいことの実現度	73.1%	65.3%
2_生きがいづくりの推進	生涯学習の機会や場の提供についての満足度	10.7%	20.4%
3_市民スポーツ活動の充実	スポーツ施設が充実していると感じる人の割合	—	44.4%
4_いつでも安心して受けられる医療の充実	保健, 医療, 福祉, 健康などの生活環境が整い暮らしやすいことの実現度	73.1%	65.3%
5_一人ひとりを大切にした相談・支援体制の充実	スポーツ施設が充実していると感じる人の割合	—	44.4%
5_一人ひとりを大切にした相談・支援体制の充実	福祉が充実し, 子どもから高齢者まで守られていることの実現度	44.3%	44.6%
6_住み慣れた地域における生活支援の充実	保健, 医療, 福祉, 健康などの生活環境が整い暮らしやすいことの実現度	73.1%	65.3%
7_誰もが快適に移動できる交通まちづくりの推進	交通ネットワークが充実していると感じる人の割合	37.2%	52.5%

※ 「—」は, 未調査

6 個別計画一覧

計画名	根拠法令	策定期期	計画年	改定期期	概要	課名
1 総務・企画						
藤沢市IT推進指針	高度情報ネットワーク社会形成基本法	2011年	2011～2013年	2013年見直し	様々な主体が協働して情報化を推進するための「情報化に関する、基本的な考え方や方向性」を示した指針	IT推進課
ふじさわ男女共同参画プラン	男女共同参画社会基本法	2011年	2011～2020年	2015年見直し	男女共同参画社会実現のための施策を体系化	人権男女共同参画課
ふじさわDV防止・被害者支援計画	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律	2013年	2013～2020年	2020年	DV防止と被害者への支援のための施策を体系化	人権男女共同参画課
藤沢市グローバルビジョン	—	2012年	—	—	今後の本市の総合的な国際化のための指針	平和国際課
藤沢市多文化共生のまちづくり指針	—	2007年	—	2014年改定	外国人市民と共に生きる地域社会づくりを目指す指針	平和国際課
2 市民自治						
藤沢市市民活動推進計画	藤沢市市民活動推進条例	2005年	2011～2013年	2013年改定	「ふじさわの新しい公共」を担う活発な市民活動の実現を目指す	市民自治推進課
3 福祉・医療						
藤沢市地域福祉計画	社会福祉法	2008年	2009～2014年	2014年見直し	地域福祉実現のための役割と方向性を示す	福祉総務課
いきいき長寿プランふじさわ2014	老人福祉法、介護保険法	2012年	2012～2014年	2014年見直し	高齢者施策等全般と介護保険事業を実施するための計画	高齢者支援課 介護保険課
ふじさわ障がい者計画2014	障がい者基本法	2009～2010年	2011～2014年	2013～2014年	障がい者支援の基盤整備を計画的に実施できるよう記載	障がい福祉課
藤沢市障がい福祉計画2014	障がい者自立支援法	2011年	2012～2014年	2014年	障がい福祉サービスと地域生活支援事業の提供体制の確保と円滑な事業実施を図るための計画	障がい福祉課
藤沢市食育推進計画	食育基本法	2008年	2009～2013年	2013年改定	生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育み健全な食生活を実践するための計画	健康増進課
藤沢市健康増進計画	健康増進法	2009年	2010～2014年	2014年改定	藤沢市独自の身近な健康づくりを推進するため、生涯にわたる市民の健康づくりの指針とする	健康増進課
藤沢市新型インフルエンザ等対策行動計画	新型インフルエンザ等対策特別措置法	2006年	—	2014年	新型インフルエンザ等の発生段階に応じた推進体制と主な対応を示す	保健予防課
藤沢市次世代育成支援行動計画	次世代育成支援対策推進法	2003～2004年	2005～2014年	2010年(後期計画策定)	児童の育成を支援するためのあらゆる分野の環境整備を図るための計画	子ども青少年育成課
4 環境						
藤沢市緑の基本計画	都市緑地法 藤沢市緑の保全及び緑化の推進に関する条例	2011年	2011年～	—	市域における「緑地の保全」及び「緑化の推進」に係る施策を総合的かつ計画的に推進するための計画	公園みどり課
藤沢市ビオトープネットワーク基本計画	—	2007年	2007年～	—	1998～2001年実施の自然環境実態調査結果等に基づき、ビオトープの保全・再生・創出を推進するための計画	公園みどり課
藤沢市環境基本計画	藤沢市環境基本条例	2010年	2011～2022年	2013年見直し	市民力・地域力・行政力を活かした協働と連携を図り、環境行動都市を目指すための指針	環境総務課
藤沢市一般廃棄物処理基本計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	2011年	2012～2021年	2016年見直し	藤沢市内で発生する一般廃棄物の処理計画	環境総務課
藤沢市環境保全職員率先実行計画	地球温暖化対策の推進に関する法律	2001年	2011～2022年	2013年見直し	エネルギー使用量を毎年2%削減する計画	環境総務課
藤沢市地球温暖化対策実行計画	地球温暖化対策の推進に関する法律	2010年	2011～2022年	2013年見直し	温室効果ガスを1990年度比2022年度までに40%削減する計画(1990年度の電気の排出係数に固定し、温室効果ガスを算定する)	環境総務課
5 経済						
藤沢市産業振興計画	—	2010年	2011～2022年	2016年見直し	地域経済の活力再生を目的とした工業・商業・新産業分野を中心とする部門別個別計画	産業労働課
藤沢市観光振興計画	—	2010年	2011～2022年	2016年見直し	本市観光産業の成長と、「観光立市藤沢」の発展を目的とした、広域連携・情報発信・地域特性・外国人観光客等、様々な面からの観光客誘致計画	観光課
藤沢市地産地消推進計画	藤沢市地産地消の推進に関する条例	2010年	2013～2015年	2013年改定	生産者、消費者、事業者及び市が一体となって「地産地消」に取り組み、本市の特色ある農水産業の持続的な発展及び健康で豊かな市民生活の実現に資することを目的とする	農業水産課

藤沢農業振興地域整備計画	農業振興地域の整備に関する法律	1973年度	—	2013年	農用地利用計画、農業生産基盤の整備開発計画、農用地等の保全計画等本市農業全体の整備計画	農業水産課
農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	農業経営基盤強化促進法	1994年	2006～2015年	2010年	育成すべき効率的かつ安定的な農業経営の指標及びこのような経営をする者に対する農用地の利用集積目標や支援措置のあり方等について定めた総合的な計画	農業水産課
6 建設						
藤沢市耐震改修促進計画	建築物の耐震改修の促進に関する法律	2008年	2008～2015年	—	2015年度末までに住宅及び・民間特定建築物の耐震化率を90%に。公共建築物は防災上、重要な建築物を中心に耐震化率を90%以上とする	建築指導課
第9次 藤沢市交通安全計画	交通安全対策基本法	2011年	2011～2015年	5年ごとに作成	交通の安全を総合的に推進するために必要な施策に関する5年間の計画	防犯交通安全課
藤沢市景観計画	景観法	2007年	2007年～	概ね5年を目安に検討・見直し	市民・事業者・行政が協働で藤沢らしい景観形成を進めていくための計画	街なみ景観課
藤沢都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針	都市計画法	2009年	2015年	—	都市の将来あるべき姿を都市計画区域ごとに具が定めるもので、都市計画の目標、市街化区域及び市街化調整区域の区域区分に関する方針、その他主要な都市計画の決定の方針などを定めるもの	都市計画課
藤沢市都市マスタープラン	都市計画法	2011年	2030年	—	今後の藤沢都市計画の基本的な方針を定めるもので、目標とする都市像を定める「全体構想」と地域ごとのまちづくりの方針を定める「地区別構想」から構成される計画	都市計画課
西北部地域総合整備マスタープラン	藤沢市都市マスタープラン	2005年	—	—	西北部地域（遠藤・御所見地区）の将来像である「農・工・住が共存する環境共生都市」の実現に向けたまちづくりの指針	西北部総合整備事務所
藤沢市交通バリアフリー化（移動円滑化）基本方針	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律	2002年	2004～2020年	—	高齢者、障がい者等の移動や施設利用の利便性、安全性の向上を促進するため、バリアフリー化を重点的・一体的に推進する計画	道路整備課
7 教育						
学校教育ふじさわビジョン	—	2003年	—	随時	藤沢の学校教育のめざす理念や施策を示した。各学校はこれを基に「学校教育目標」を策定し、創意工夫ある教育課程を推進する	教育指導課
藤沢市教育振興基本計画	教育基本法	2011年	2011～2015年	2015年見直し	藤沢市が目指す教育の方向性を明らかにした本市域の教育全般にわたる総合的な中期計画	学校教育企画課
ふじさわ子ども・若者計画2014	子ども・若者育成支援推進法	2013年	2013～2014年	2015年見直し	子ども・若者の健やかな育成と社会生活を円滑に営むことができるようにするための計画	子ども青少年育成課
ふじさわ子ども読書プラン2015第2次藤沢市子ども読書活動推進計画	子どもの読書活動の推進に関する法律	2010年	2011～2015年	2014～2015年見直し	子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的・計画的に推進し、子どもの健やかな成長に資することを目的とする計画	総合市民図書館
藤沢市スポーツ振興基本計画（ふじさわスポーツ元気プラン2020）	スポーツ基本法	2011年	2011年～2020年	随時	生涯スポーツ振興の指針と施策方向を示した計画	スポーツ推進課
生涯学習ふじさわプラン2016	—	2011年	2011～2016年	2014年見直し	だれもが参画できる生涯学習環境の整備に向けた施策の目標と内容を示した	生涯学習総務課
8 防災						
藤沢市地域防災計画	災害対策基本法	1961年	—	随時	災害予防、応急対策、災害復旧に関する基本計画	防災危機管理室
藤沢市国民保護計画	武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律（国民保護法）	2005年	—	随時	国民の保護のための措置に関する基本計画	防災危機管理室
藤沢市都市防災基本計画	—	2003年	—	—	地震災害を未然に防ぎ、安全・安心の都市づくりを具体化するため、市民と協働して地区別防災まちづくりを推進する計画（モデル地区は辻堂地区）	都市計画課
藤沢市災害時要援護者避難支援プラン全体計画	災害時要援護者の避難支援ガイドライン	2010年	—	—	災害時要援護者の避難支援対策について、基本的な考え方や進めかたのガイドライン	福祉総務課